

官報號外

昭和十六年二月二十一日

○第七十六回 衆議院議事速記録第十六號

昭和十六年二月二十日(木曜日)

午後一時九分開議

議事日程 第十五號

昭和十六年二月二十日
午後一時開議

第一 刑法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一 読會

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
茲ニ掲載ス〕

一昨十九日貴族院ヨリ受領シタル政府提出

案左ノ如シ

刑法中改正法律案

一昨十九日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル

左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ

通牒ヲ受領セリ

帝都高度度交通營團法案

日本發送電株式會社法中改正法律案

關稅定率法中改正法律案

昭和十二年法律第五十七號改正法律案

(鐵ノ輸入稅免除ニ關スル件)

相續稅法中改正法律案

臨時利得稅法中改正法律案

國稅徵收法中改正法律案

關稅法中改正法律案

健康保險法中改正法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

高原寒冷地帶開發ニ關スル建議案

豫備金外豫算超過及豫

算外支出ノ件

第四 大正十二年法律第五十二號中改

正法律案(司法官試補及辯護士ノ資

開拓地ニ必要ナル醫師養成ノ機關特設ニ
關スル建議案

如シ

借地法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)外一件委員

吉川吉郎兵衛君

江原三郎君

中原謹司君

今井新造君

山本糸吉君

高橋熊次郎君

三宅正一君

庄司一郎君

助川啓四郎君

濱地文平君

山本義成君

大都市塵芥利用ノ獎勵指導及助成ニ關スル建議案

青木作雄君

菊地養之輔君

紅露昭君

野口喜一君

福田關次郎君

中野治介君

朴春琴君

亀作君

稻田直道君

三宅正一君

仲井間宗一君

松永東君

行吉角治君

鷺男君

元吉君

眞鍋儀十君

福田義成君

一去十八日近衛内閣總理大臣ヨリ左ノ通發

庄司一郎君

昭君

人的資源活用ニ關スル建議案

庄司一郎君

江原三郎君

提出者 (以上二月十九日提出)

庄司一郎君

中原謹司君

令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

元吉君

江原三郎君

食糧管理局事務官石井英之助

補闕岩瀬亮君

中原謹司君

第七十六回帝國議會農林省所管事務政府

昌藏君

江原三郎君

委員被仰付

勝太郎君

中原謹司君

一去十八日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常

任委員左ノ如シ

江原三郎君

第一部選出請願委員長野長廣君

吉川吉郎兵衛君

中原謹司君

第七部選出請願委員熊谷五右衛門君

吉川吉郎兵衛君

中原謹司君

一去十八日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如

シ

江原三郎君

第九部選出決算委員加藤鑄造君(山崎鉄二君)

吉川吉郎兵衛君

中原謹司君

送付)外一件委員

江原三郎君

中原謹司君

委員長

吉川吉郎兵衛君

中原謹司君

理事

江原三郎君

中原謹司君

江原三郎君

吉川吉郎兵衛君

中原謹司君

一昨十九日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如

シ
第一部選出

請願委員 仲井間宗一君（長野長廣君
補闕）

第七部選出
門君補闕）

一昨十九日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如

シ
請願委員 山川賴三郎君（熊谷五右衛

門君補闕）

刑法中改正法律案

目次中「第七章 犯人藏匿及ヒ詐憑滅

ノ罪」ノ次ニ「第七章ノ二 安寧秩序ニ對

スル罪」ヲ加フ

ニ改ム

第四條第三號中「第百九十七條ノ罪」ヲ「第

百九十七條乃至第百九十七條ノ四ノ罪」

ヲ以テ財産ヲ隠匿、損壊若クハ假裝讓

渡シ又ハ假裝ノ債務ヲ負擔シタル者ハ

二年以下ノ徵役又ハ千圓以下ノ罰金ニ

左ノ如ク改ム

第十八條第一項中「一日以上一年以下」ヲ

「一日以上二年以下」ニ改メ同條第三項ヲ

罰金ヲ併科シタル場合又ハ罰金ト科料

トヲ併科シタル場合ニ於ケル留置ノ期

間ハ三年ヲ超ユルコトヲ得ス科料ヲ併

科シタル場合ニ於ケル留置ノ期間ハ六

十日ヲ超ユルコトヲ得ス

第十九條第一項第三號中「又ハ之ニ因リ

得タル物」ヲ「若クハ之ニ因リ得タル物又

ハ犯罪行爲ノ報酬トシテ得タル物」ニ改

メ同項ニ左ノ一號ヲ加フ

四 前號ニ記載シタル物ノ對價トシ

テ得タル物

同條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但犯罪ノ後犯人以外ノ者情ヲ知リテ其

物ヲ取得シタルトキハ犯人以外ノ者ニ

屬スル場合ト雖モ之ヲ沒收スルコトヲ

得

第十九條ノ二 前條第一項第三號及ヒ第

四號ニ記載シタル物ノ全部又ハ一部ヲ

沒收スルコト能ハサルトキハ其價額ヲ

追徵スルコトヲ得

第二編第五章中第九十六條ノ次ニ左ノ二

條ヲ加フ

第九十六條ノ二 強制執行ヲ免ル目的

ヲ以テ財產ヲ隠匿、損壊若クハ假裝讓

渡シ又ハ假裝ノ債務ヲ負擔シタル者ハ

二年以下ノ徵役又ハ千圓以下ノ罰金ニ

處ス

第九十六條ノ三 僞計若クハ威力ヲ用ヒ

又ハ談合ニ依リ公ノ競賣又ハ入札ノ公

正ヲ害スヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ二年

以下ノ徵役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處

ス

第一百五十六條ノ次ニ左ノ一章ヲ加フ

第七章ノ二 安寧秩序ニ對スル罪

第一百五條ノ二 人心ヲ惑亂スルコトヲ目

的トシテ虛偽ノ事實ヲ流布シタル者ハ

五年以下ノ徵役若クハ禁錮又ハ五千圓

以下ノ罰金ニ處ス

第一百五十七條第一項中「二年以下ノ徵役

又ハ百圓以下ノ罰金」ヲ「五年以下ノ徵役

又ハ千圓以下ノ罰金」ニ、同條第二項中

「六月以下ノ徵役又ハ五十圓以下ノ罰金」

ヲ「一年以下ノ徵役又ハ三百圓以下ノ罰

金」ニ改ム

第一百五十七條第一項中「二年以下ノ徵役

又ハ百圓以下ノ罰金」ヲ「五年以下ノ徵役

又ハ千圓以下ノ罰金」ニ改ム

第一百五十七條 公務員又ハ仲裁人其職務

ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ク

ハ約束シタルトキハ三年以下ノ徵役ニ

處ス請託ヲ受ケタル場合ニ於テハ五年

以下ノ徵役ニ處ス

界ノ搾亂、重要物資ノ生産又ハ配給ノ
阻害其他ノ方法ニ依リ國民經濟ノ運行
ヲ著シク阻害スル虞アル行爲ヲ爲シタ
ル者ハ無期又ハ一年以上ノ徵役ニ處ス
前項ノ罪ヲ犯シタル者ニハ情狀ニ因リ
士萬圓以下ノ罰金ヲ併科スルコトヲ得
第百十六條第一項中「三百圓以下ノ罰金」
ヲ「千圓以下ノ罰金」ニ改ム

第一百七條ノ二 第百十六條又ハ前條第

一項ノ行爲カ業務上必要ナル注意ヲ怠

リタルニ因ルトキ又ハ重大ナル過失ニ

出テタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ三

千圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百五十七條第一項中「二年以下ノ徵役

又ハ百圓以下ノ罰金」ヲ「五年以下ノ徵役

又ハ千圓以下ノ罰金」ニ改ム

第一百五十七條第一項中「二年以下ノ徵役

又ハ百圓以下ノ罰金」ヲ「五年以下ノ徵役

又ハ千圓以下ノ罰金」ニ改ム

第一百五十七條 公務員又ハ仲裁人其職務

ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ク

ハ約束シタルトキハ三年以下ノ徵役ニ

處ス請託ヲ受ケタル場合ニ於テハ五年

以下ノ徵役ニ處ス

第一百五十七條 公務員又ハ仲裁人其職務

ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ク

ハ約束シタルトキハ三年以下ノ徵役ニ

處ス請託ヲ受ケタル場合ニ於テハ五年

以下ノ徵役ニ處ス

第一百五十七條 公務員又ハ仲裁人其職務

ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ク

ハ約束シタルトキハ三年以下ノ徵役ニ

處ス請託ヲ受ケタル場合ニ於テハ五年

以下ノ徵役ニ處ス

職務ニ關シ請託ヲ受ケテ第三者ニ賄賂ヲ供與セシメ又ハ其供與ヲ要求若クハ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第一百九十七條ノ三 公務員又ハ仲裁人前二條ノ罪ヲ犯シ因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス。

公務員又ハ仲裁人其職務上不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササリシコトニ關シ賄賂ヲ收受、要求若クハ約束シ又ハ第三者ニ之ヲ供與セシメ其供與ヲ要求若クハ約束シタルトキ亦同シ公務員又ハ仲裁人タリシ者其在職申請託ヲ受ケテ職務上不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササリシコトニ關シ規定ヲ改正又ハ新設スルノ必要ガアルノデ、本案ヲ提出致シマシタ次第アリマス、何防止シ、以テ治安ノ確保ヲ圖ル等ノ爲ニ、ハ相當ノ懲役ニ處ス。

第百九十七條ノ四 公務員其地位ヲ利用シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス。

其他ノ公務員ノ職務ニ屬スル事項ニ付幹旋ヲ爲シ又ハ爲シタルコトニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若クハ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第一百九十七條ノ五 犯人又ハ情ヲ知リタル第三著ノ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス其全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其價額ヲ追徴ス

第百九十八條 第百九十七條乃至第百九十七條ノ四ニ規定スル賄賂ヲ供與シ又ハ其申込若クハ約束ヲ爲シタル者ハ三

年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔國務大臣柳川平助君登壇〕只今議題トナリマシタ刑法中改正法律案ノ提案理由ヲ申述ベマス

○國務大臣(柳川平助君)現行刑法ハ施行後相當長年月ヲ経過シ、其ノ後ノ人心ノ趨向、犯罪ノ情勢、其ノ他社會ノ實情ニ鑑ミマシテ、急速ニ改正ヲ要スル部分ガアルノデアリマス、即チ益、官紀ノ肅正及び公務ノ執行ノ適切ヲ期シ、又人ハ相當ノ懲役ニ處ス。

心ノ惑亂、經濟上ノ混亂ヲ誘發スルコトヲ防止シ、以テ治安ノ確保ヲ圖ル等ノ爲ニ、ハ相當ノ懲役ニ處ス。

辛憤重御審議ノ上速カニ御協賛アランコトヲ切望致シマス(拍手)

○議長(小山松壽君)質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス——庄司一郎君

〔庄司一郎君登壇〕

○庄司一郎君 諸君、私ハ只今議題トナツテ居リマスル所ノ刑法中改正法律案ニ關シマシテ、又關聯ヲ致シマシテ、二、三ノ極能ク立法ノ精神、法令ノ趣旨ノアル所ヲ納得シテ簡單ナル質問ヲ司法當局、並ニ關聯ノアル事項ニ關シマシテハ、内務大臣ニ御伺ヒヲ申上ガタイト思フノデゴザイマス

ノ嚴罰主義ノ刑罰法規ガ制定サレ、又制定サレントシテ居ル今日ニ於テ、普ク國民ノ間ニマシテ、其の御製ハ、御製トシテ、之ヲ能ク立法ノ精神、法令ノ趣旨ノアル所ヲ納得サセ、會得サセルコトガ、極メテ緊要事デアルト考ヘテ居リマスルガ、政府ハ如何ナル

對策ヲ以テ一億國民ノ申ニ、以上申上ゲタ幾多ノ嚴罰法規ノ立法ノ精神、或ハ法律法令ノ趣旨ヲ、國民ノ間ニ之ヲ普遍化セントスルモノ御製ヲ公ニ發表シタ者ヨリハ、或ハ請書ヲ取レ、或ハ將來再ビ其ノ事ナキヤウニ始末書ヲ取レト云フ意味ノ通牒ヲ發セラレテ

ノデアルカ、其ノ對策ニ關シテ先づ以テ司法當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、是ハ司法省ト密接不可分ノ關聯ヲ持ツテ居ル所ノ問題デゴザイマス、明治天皇ハ天性類歌ヲ御好ミニナラレテ、其ノ御一生ニ於テ御吟咏ナサレタル所ノ御製ハ約九万六千餘首ニ上リ、之ヲ吾々國民ノ前スル所ノ措置法、其ノ他ノ法律ガ施行サレマシタル場合、國民ノ多クガ未ダ統制經濟ニ關スル法律或ハ法令ヲ能ク會得シマセヌ前ニ、内務省或ハ司法省等ノ檢察檢舉ノ關係ノ諸君ニ於カレテハ、檢舉第一主義ヲ執ラレマシテ、徒ラニ國民ヲファン縛ル所ノ、左様ナル態度ノミニ勇往邁進サレマシタ結果、毎日ノ新聞ニ依レバ、闇取引或ハ非國民、斯様ナ汚名ノ下ニ幾多ノ違反者ヲ出シテ居ルノデアリマス、洵ニ銃後ニ於ケル、此ノ國民ノ愛國尊皇ノ精神ガ燃エテ居ル場合ニ於テ、此ノ上ナキ遺憾至極ノコトデアラ合ニ於テ、此ノ上ナキ遺憾至極ノコトデアラス、其ノ通牒ハ文部省發行、官內省藏版、内閣印刷局ノ印刷ニ係ル明治天皇御集、全此ノ御集ニ編纂サレテ居ル御製ダケガ、明治天皇様ノ絕對ノ御製デアラルルガ故ニ、他ノ幾多ノ御製ハ、御製トシテ、之ヲ能ク立法ノ精神、法令ノ趣旨ノアル所ヲ納得サセ、會得サセルコトガ、極メテ緊要事デアルト考ヘテ居リマスルガ、政府ハ如何ナル

對策ヲ以テ一億國民ノ申ニ、以上申上ゲタ幾多ノ嚴罰法規ノ立法ノ精神、或ハ法律法令ノ趣旨ヲ、國民ノ間ニ之ヲ普遍化セントスルモノ御製ヲ公ニ發表シタ者ヨリハ、或ハ請書ヲ取レ、或ハ將來再ビ其ノ事ナキヤウニ始末書ヲ取レト云フ意味ノ通牒ヲ發セラレテ

居リマス、斯様ナ通牒ヲ發セラレマシタ所、以ノモノハ、蓋シ御製ヲ尊重スル思想ヨリ出デタルモノトハ想像サレマスケレドモ、其ノ結果ト致シマシテ、國民ノ中ニハ從來幾十年ノ間ニ刊行サレマシタル所ノ、明治天皇ノ御製集ヲ拜讀シテ居リマスル者ハ、文部省發行ノ御集ヲ全然未ダ拜讀シテ居ナイ者ハ、文部省ノ編纂ニ係ハル御集以外ノ御製ヲ、或ハ新聞ニ、雑誌ニ、或ハ單行本等ニ之ヲ發表シテ、御製ヲ心ヨリ拜誦ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ道府縣ノ特高課、檢閱課ハ、内務大臣ノ一片ノ通牒ニ依ツテ之ヲ嚴重ニ取締ツテ、居リマス、喚出シヲシテ始末書ヲ取ツテ居リマス、

明治天皇ノ御製ニ關シテ始末書ヲ取ラレルト云フコトハ、國民ニ大イナル精神的ノ苦痛ヲ與フルコトデナクテ何デアリマセウカ、是イ、例ヘバ「罪アラバワレフトガメヨ天ツ神民ハワガ身ノ產ミシ子ナレバ」此ノ明治天皇ノ御製ハ、國民ノ齊シク拜誦シテ感激措ク能ハザル所デアリマシテ、特ニ司法保護事業ノ關係者ノ如キハ、此ノ御製ヲ以テ金科玉條トシテ、受刑者或ハ釋放者ノノデアリマス、此ノ「罪アラバ」ノ御製ハ、最近ニ於キマシテハ「刑事政策ノ新動向」ト云フ著書、著者ハ東京地方裁判所判事、安平政吉氏、「大日本天皇紀」、著者ハ朝倉尚絅

氏、「再生」ト云フ傳記本ノ著者齋藤弔花氏、「明治天皇御製謹註」、東京女子高等師範學校教授、亘理章三郎氏、「明治天皇御製讀本」、陸軍中將吉江由之助氏等々ノ編纂ニ係ハル御製ノ中ニハ、此ノ「罪アラバ」ノ御製ノ如キハ、洵ニ有難キ感激ヲ以テ編纂ヲサレタル所ノ刑罰ニ依キテ罰金以上ノ刑ニ處セラレテ居ル所ノ御製デゴザイマス、司法大臣ハ司法省ノ官吏アル所ノ、判事ノ現職ニアル安平氏ノ著書ノ中ニ現ハレテ居ル「罪アラバ」ノ御製ハ、明治天皇様ノ御製デアルト云フ御信念ト御確信ヲ御持チニナツテ居ルカト云フコトヲ御伺ヒ致シタインオデアリマス、次ニハ内務省ニ於キマシテハ、只今申上ゲタヤウナ通牒ヲ、道府縣ノ長官ニ出サレマシタ所以ノモノハ、其ノ根本ノ精神ガ一體那邊ニアルカ、只今申上ゲマシタヤウナ著書ニ對シテハ、如何ナル取締或ハ制裁ヲ與ヘツツアルカト云フコトヲ、參考ノ爲ニ伺ヒタインオデアリマス

私ノ質問ノ第三項ハ、司法保護上ノ根本義ニ關スル所ノ質問デアリマス、悲シイ哉、我ガ大日本帝國ハ、或ハ世界ノ三大強國ヲ誇リ、東亞共榮圈ヲ指導スル所ノ强大ナル國ニナリツアリマス、斯様ニ私ハ考ヘテ居ラル、刑餘者、釋放者ノ内ナル魂ニ此ノ感激ヲ與ヘル、斯ノ如キ私ノ質疑ノ根本ハ、現行法規即チ刑事訴訟法ニモ、第二百八十一條以下ニ於テ、此ノ公訴ノ時效ト云フモノガ致シマシテモ、到底其ノ效果ヲ擧ゲルコトハ出來マセヌ(拍手)、斯様ニ私ハ考ヘテ居ラル、刑餘者、釋放者ノ内ナル魂ニ此ノ感激ヲ與ヘル、斯ノ如キ私ノ質疑ノ根本ハ、現行法規即チ刑事訴訟法ニモ、第二百八十一條以下ニ於テ、此ノ公訴ノ時效ト云フモノガアル、刑法ノ三十一條以下ニ於テハ、刑ノ時效ト云フモノガ現行法律トナツテ居リマス、然ルニ刑務所ヲ釋放サレテ、其ノ後眞上ノ成績モ擧ゲル、然ルニ此ノ前科者ハ假釋放ノ恩典アリ、或ハ累進處遇令ト云テ居ルコトハ、司法當局能ク御承知デアラジアリ、受刑者ノ中ノ成績ノ學リマシタ者ノモノガ實施サレテ居リマス、而シテ行刑シマシテ、檢察官憲ニ於テモ起訴猶豫ノ制度アリ、裁判所ニ於テハ刑ノ執行猶豫ノ恩典アリ、受刑者ノ中ノ成績ノ學リマシタ者ノ烙印ヲ受ケタ者ハ、一生涯墓場マデ前科一

アリマス、司法省ニ於カレマシテハ、保護

課ヲ保護局ニ昇格サレマシテ、全國ニ五千人ノ司法保護委員ヲ任命サレマシテ、釋放サレタル所ノ刑罰ニ依ツテ罰金以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ、依然トシテ前科一犯デアル、二十年經ツテモ、五十年經ツテモ前科一犯ニ結構ナコトデハアリマスケレドモ、而モ疾病ヲ癒シ、凡ユル觀點ヨリ刑餘者ニ對シテ溫情ノ手ヲ伸ベラレツツアルコトハ、洵ノ刑罰法規ニ依ツテ罰金以上ノ刑ニ處セラアル、ソニヨハ何等赦免ガアリマセヌ、アルカ、是ハ我ガ國ガ特ニ戰時體制下ニ於テ直面致シテ居ル所ノ重大ナル社會問題デアリマス、私ノ思フニハ、如何ニ司法保護委員ガ防犯第一ノ方針ヨリ、保護ノ力ニ依リ、他力ニ依リ、客觀的ノ力ニ依ツテ保護推輒ヲ致シマシテモ、彼等刑餘者ニ對シ、彼等釋放者ニ對シ、内カラ燃ユリ所ノ希望ト光明トヲ與ヘズンバ、五千人ノ司法保護委員ヲ倍加シ、或ハ三倍加致シマシテモ、到底其ノ效果ヲ擧ゲルコトハ出來マセヌ(拍手)、斯様ニ私ハ考ヘテ居ラル、刑餘者、釋放者ノ内ナル魂ニ此ノ感激ヲ與ヘル、斯ノ如キ私ノ質疑ノ根本ハ、現行法規即チ刑事訴訟法ニモ、第二百八十一條以下ニ於テ、此ノ公訴ノ時效ト云フモノガアル、刑法ノ三十一條以下ニ於テハ、刑ノ時效ト云フモノガ現行法律トナツテ居リマス、然ルニ刑務所ヲ釋放サレテ、其ノ後眞上ノ成績モ擧ゲル、然ルニ此ノ前科者ハ假釋放ノ恩典アリ、或ハ累進處遇令ト云テ居ルコトハ、司法當局能ク御承知デアラジアリ、受刑者ノ中ノ成績ノ學リマシタ者ノモノガ實施サレテ居リマス、而シテ行刑シマシテ、檢察官憲ニ於テモ起訴猶豫ノ制度アリ、裁判所ニ於テハ刑ノ執行猶豫ノ恩典アリ、受刑者ノ中ノ成績ノ學リマシタ者ノ烙印ヲ受ケタ者ハ、一生涯墓場マデ前科一

アリマス、司法省ニ於カレマシテハ、保護

課ヲ保護局ニ昇格サレマシテ、全國ニ五千人ノ司法保護委員ヲ任命サレマシテ、釋放

サレタル所ノ刑罰ニ依ツテ罰金以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ、依然トシテ前科一犯デアル、二十年經ツテモ、五十年經ツテモ前科一犯ニ結構ナコトデハアリマスケレドモ、而モ疾病ヲ癒シ、凡ユル觀點ヨリ刑餘者ニ對シテ溫情ノ手ヲ伸ベラレツツアルコトハ、洵ノ刑罰法規ニ依ツテ罰金以上ノ刑ニ處セラアル、ソニヨハ何等赦免ガアリマセヌ、アルカ、是ハ我ガ國ガ特ニ戰時體制下ニ於テ直面致シテ居ル所ノ重大ナル社會問題デアリマス、私ノ思フニハ、如何ニ司法保護委員ガ防犯第一ノ方針ヨリ、保護ノ力ニ依リ、他力ニ依リ、客觀的ノ力ニ依ツテ保護推輒ヲ致シマシテモ、彼等刑餘者ニ對シ、彼等釋放者ニ對シ、内カラ燃ユリ所ノ希望ト光明トヲ與ヘズンバ、五千人ノ司法保護委員ヲ倍加シ、或ハ三倍加致シマシテモ、到底其ノ效果ヲ擧ゲルコトハ出來マセヌ(拍手)、斯様ニ私ハ考ヘテ居ラル、刑餘者、釋放者ノ内ナル魂ニ此ノ感激ヲ與ヘル、斯ノ如キ私ノ質疑ノ根本ハ、現行法規即チ刑事訴訟法ニモ、第二百八十一條以下ニ於テ、此ノ公訴ノ時效ト云フモノガアル、刑法ノ三十一條以下ニ於テハ、刑ノ時效ト云フモノガ現行法律トナツテ居リマス、然ルニ刑務所ヲ釋放サレテ、其ノ後眞上ノ成績モ擧ゲル、然ルニ此ノ前科者ハ假釋放ノ恩典アリ、或ハ累進處遇令ト云テ居ルコトハ、司法當局能ク御承知デアラジアリ、受刑者ノ中ノ成績ノ學リマシタ者ノモノガ實施サレテ居リマス、而シテ行刑シマシテ、檢察官憲ニ於テモ起訴猶豫ノ制度アリ、裁判所ニ於テハ刑ノ執行猶豫ノ恩典アリ、受刑者ノ中ノ成績ノ學リマシタ者ノ烙印ヲ受ケタ者ハ、一生涯墓場マデ前科一

書生ノ時代ニ讀ンダ彼ノ「ヴィクトル・ユーポー」ノ「レ・ミゼラブル」主人公「ジャン・ヴァルジヤン」ハ前科ガアリマシテ爲ニ、如何ニ波瀾萬丈ノ曲折極マル悲慘ナル生活ヲ彼ガ送ツタカ、立派ナル人間ニ更生ヲシテ「マドレース」市長トナリマシテ、凡ユル善事ヲナシタ名市長ノ「ジャン・ヴァルジヤン」ニ對シマシテモ、長イ間凡ユル迫害ヲ與ヘタ「ゲーベル」探偵長ノアツタコトヲ吾吾ハ忘レテハナリマセヌ、皇恩無邊、皇恩無限デアリマス、歷代仁慈ノ御精神ヲ以テ、一人ダニ其ノ所ヲ得ザル者アラシメテハナラナイト云フ御聖旨ヲ奉戴スル時ニ、一定年限ヲ經過セル所ノ釋放者或ハ刑餘者ニ對シテ、其ノ過去ノ過チヲ根本的ニ抹消シ、之ヲ許シテヤル所ノ單行法律或ハ勅令ヲ發布サレマシテ、氣ノ毒ナル現下我が日本ニ於ケル約三百万ニ近イ同胞ノ中に於テ、立派ニ更生シテ、立派ニ精進シ、職域奉公シテ居ル所ノ同胞ノ缺格者ヲ選バレテ、聖恩ヲ普ク是等ノ人々ニ浴セシムル爲ニ、適當ナル所ノ單行法律、或ハ勅令ヲ發布セラレル所ノ御意思ガアルカナイカ、願ハクハ左様ニシタイト云フコトヲ最後ノ質問ト致シマシテ、私ハ之ヲ以テ終ル者デアリマス（手）

〔國務大臣柳川平助君登壇〕

○國務大臣（柳川平助君）只今ノ御質疑ニ御答へ致シマス、本議會ニ國防保安法案其ノ他重要ナ法案ヲ出シマシテ、其ノ罰則ヲ

モ敵ニシナケレバナラヌヤウニニナリマシタノハ、現下ノ時局已ムヲ得ザル事情ノアルコトヲ、御諒承ヲ御願ヒ致シマス次第デアリマス、斯ノ如ク多數ノ法ヲ、能ク國民ヲシテ周知セシムル所ノ方法手段、如何ナル方法ヲ執ルカト云フコトガ、御質疑ノ第一點ト思ヒマス、中央地方、諸官公衛等ヲ經テ國民ニ知ラシムル手段ヲ執ルコトハ勿論、其ノ他重要ナ事項ヲ週報、新聞テ、「ラヂオ」等ヲ通ジ、凡ユル手段ヲ通シテ、國民ニ周知セシムル手段ヲ盡シタトイ考へテ居リマス、尙ホ之ヲ取扱フ所ノ司法官、警察官等ニ對シマシテハ、或ハ合同ノ講習會、或ハ印刷物等ニ依リマシテ、運用宜シキヲ得ルヤウニ示達シタイ考へデアリマス

次ニ 明治天皇ノ御製ニ關スルコトデゴザイマスガ、御擧ゲニナリマシタ御歌ハ、御製ト考へテ居リマスケレドモ、若シ過ツト恐懼スペキコトデアリマスカラ、能ク調べテ後デ御答へ申上ガタイト存ジマス

○佐竹曉記君 司法大臣ニ御尋ネ申上ダマス、一小部分ノ刑法改正法律案ガ提案サレマシタガ、何故今少シク徹底致シマシタ廣範圍ノ改正案ヲ御出シニナラナカツタノカ、恐ラク政府ハ時局ニ直接關係ノ薄イ法案ノ提案ヲ取止メマシタ關係デ、刑法ニ付カ、恐ラク政府ハ時局ニ直接關係ノ薄イ法案ノ提案ヲ取止メマシタ關係デ、刑法ニ付テモ全面的改正ニ觸レズ、時局ニ密接ナ關係ヲ有スル一部分ノ改正案ヲ提案スルニ止メ

○佐竹曉記君登壇）

致シマシテモ、茲ニ提案サレマシタ程度ノ釋後多年ニナル者ニ對シテ、前科抹消ニ關シタルコトニ努力セナケレバナラスト云フ御意見ハ、全ク御同感デゴザイマス、隨ヒマシテ今仰セラレタヤウニ、刑ニ服シテ放逐後多年ニナル者ニ對シテ、前科抹消ニ關シタルコトニ努力セナケレバナラスト云フテモ全面的改正ニ觸レズ、時局ニ密接ナ關係ヲ有スル一部分ノ改正案ヲ提案スルニ止メテハ極メテ狭イ範圍内ニ止マリマシテ、従ノ規定新設程度ノモノデアリ、各論ニ付テハ極メテ狭イ範圍内ニ止マリマシテ、ニ第七章安寧秩序ニ對スル罪ニ付テハ、時局柄洵ニ其ノ改正ハ適切デゴザイマスガ、ソレハ昨年公ニ致シマシタ改正刑法提案ノ第十三章中ノ一部分ニ過ギマセヌ、同案ノ一百三十九條以下ノ重要ナル數箇條ガ、悉ク削除スル立法ニ關シテモ、研究ヲ致シテ見マシタ所デアリマスガ、既存ノ法規トノ關係、

致シマシテ、總則ノ改正ダケデモ此ノ際之ヲ望マシカツタノデアリマス、一方總則ハ雷ニ刑法所定ノ各犯罪ニ適用アルノミデハゴザイマセヌ、國家總制冒法及ビ之ニ基イテ發スル所ノ勅令ニ依ル經濟違反事件等、總デノ刑事案件ニ適用セラレマスコトハ、私ノ申上ガルマデモナイ所デアリマシテ、刑法總則ハ謂ハバ凡ユル罰則ノ總元締デアリマス、然ルニ此ノ總元締デアリマスル刑法ハ、明治四十年ノ制定ニ係リ、大正十年ニ改正サレマシテ以來、今日マデ舊態依然タル有様デアリマス、固ヨリ今次支那事變ニ伴フ刑事事案ヲ、如何ニ處理スルカナドト云フコトハ、夢ダニ考ヘテ居ナイ所デアリマス、戰時下特別法規ニ依ツテ檢舉セラレテ居リマス所ノ經濟事犯等ハ驚クベキ多數ニ上

リ、次第ニ激増致シマスル所ノ形勢ニアルニ拘ラズ、之ヲ處理スペキ總元締デアリマスル刑法總則ガ舊態依然タル有様デアリシテ、是デドウシテ本當ニ時局ニ對應致シマスル刑事政策ガ立得ラレマセウ、譬ヘバ手足ハ急速ニ發達進歩ヲ致シマシテ、極メテ進歩的デアルガ、頭ハ依然ト致シマシテ昔ノ儘デアルト云フ狀態デ、是デハ駄目デアル、私ハ少クトモ此ノ際刑法總則ダタト考ヘタノデアリマスルガ、政府ハ何ガ故ニ此ノ御提案ヲナサレナカツタノカ

第二ニ御尋ネラ申上ガタイノハ、私ハ更ニ少シク問題ヲ掘下ゲテ考ヘテ見タイト思

フノデアリマス、今日所謂經濟事犯ナルモノハ非國家的行爲ダ、國賊デアルト呼バレマシテ、其ノ理由ノ如何ニ拘ラズ嚴罰ヲ以テ臨ンデ居ルノガ實情デアリマス、淘ニ文字通り非國家的行爲、國賊的事案モアルニハアリマスルガ、併シ中ニハ淘ニ氣ノ毒ナ事件モゴザイマシテ、必ズシモ非國家的行動ダ、國賊デアルナドトハ言ヒ難イモノモ數多イノデアリマス、斯ウシタ時ニ、昨年公ニサレマシタ改正刑法假案ノ第十一條ノ如キ改正ガ、若シ行ハレテ居ルト致シマシタナラバ、寛嚴宜シキヲ得タ、時局ニ對應スル適切ナ裁判ヲ下スコトガ出來、戰時下急造サレマス所ノ罰則ノ缺陷ヲ補ヒ、官民離間ヲ防グ調和剤トモナツテ、洵ニ適切ナコトデハナカツタカト思フノデアリマス、私ハ今十分ノ御理解ヲ願フ爲ニ、茲ニ一、二ノ實例ヲ申上ゲマシテ御勘考ヲ願ビ、且ツ切實ナル御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマス、私ノ縣デハ肉類ヲ行商致シテ居リマスル者ガアリマス、何レモ九・一八ノ「ストップ」令ニ依リマシテ價格方釘付ケニサレシテ、而モ國賊扱ヒヲセラレタ次第デアリマス、是ハ少々無理デハアリスマイカ、ソレノミデハゴザイマセヌ、マダ酷イノニシテ、而モ國賊扱ヒヲセラナイト云フドコロカ、舊來ヨリモ損ヲシロト命ゼラレマシテ、而モ國賊扱ヒヲセラナイト云フドコロカ、舊來ヨリモ損ヲシロト命ゼラレマシテ、而モ國賊扱ヒヲセラレタ次第デアリマス、是ハ少々無理デハアリスマイカ、ソレノミデハゴザイマセヌ、マダ酷イノニシテモ、以前カラ非常ニ暴利ヲ貪ツテ高ク賣ツテ居リマシタ連中ハ、九・一八ノ十八日頃ニハマダ需要ガ少イノデアリマス、私ノ縣デハ肉類行商人ノ間ニ於キマナリマスト、同ジ肉類行商人ノ間ニ於キマシタ、所ガ此ノ肉類ト云フモノハ、九月ノ十八日頃ニハマダ需要ガ少イノデアリマス、隨ヒマシテ、價格モ安イ、十二月、一月、二月頃ノ寒イ時期ニ相成リマスルト、需要モ大變激增シテ參リマス、自然ニ價格デモ、急速ニ全面的改正ヲナスノ要ガアルト考ヘタノデアリマスルガ、政府ハ何ガ故ニ此ノ御提案ヲナサレナカツタノカ

第二ニ御尋ネラ申上ガタイノハ、私ハ更ニ少シク問題ヲ掘下ゲテ考ヘテ見タイト思

フノデアリマス、今日所謂經濟事犯ナルモノハ非國家的行爲ダ、國賊デアルト呼バレマシテ、其ノ理由ノ如何ニ拘ラズ嚴罰ヲ以テ臨ンデ居ルノガ實情デアリマス、淘ニ文字通り非國家的行爲、國賊的事案モアルニハアリマスルガ、併シ中ニハ淘ニ氣ノ毒ナ事件モゴザイマシテ、必ズシモ非國家的行動ダ、國賊デアルナドトハ言ヒ難イモノモ數多イノデアリマス、斯ウシタ時ニ、昨年公ニサレマシタ改正刑法假案ノ第十一條ノ如キ改正ガ、若シ行ハレテ居ルト致シマシタナラバ、寛嚴宜シキヲ得タ、時局ニ對應スル適切ナ裁判ヲ下スコトガ出來、戰時下急造サレマス所ノ罰則ノ缺陷ヲ補ヒ、官民離間ヲ防グ調和剤トモナツテ、洵ニ適切ナコトデハナカツタカト思フノデアリマス、私ハ今十分ノ御理解ヲ願フ爲ニ、茲ニ一、二ノ實例ヲ申上ゲマシテ御勘考ヲ願ビ、且ツ切實ナル御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマス、私ノ縣デハ肉類ヲ行商致シテ居リマスル者ガアリマス、何レモ九・一八ノ「ストップ」令ニ依リマシテ價格方釘付ケニサレシテ、而モ國賊扱ヒヲセラレタ次第デアリマス、是ハ少々無理デハアリスマイカ、ソレノミデハゴザイマセヌ、マダ酷イノニシテモ、以前カラ非常ニ暴利ヲ貪ツテ高ク賣ツテ居リマシタ連中ハ、九・一八ノ十八日頃ニハマダ需要ガ少イノデアリマス、私ノ縣デハ肉類行商人ノ間ニ於キマナリマスト、同ジ肉類行商人ノ間ニ於キマシタ、所ガ此ノ肉類ト云フモノハ、九月ノ十八日頃ニハマダ需要ガ少イノデアリマス、隨ヒマシテ、價格モ安イ、十二月、一月、二月頃ノ寒イ時期ニ相成リマスルト、需要モ大變激增シテ參リマス、自然ニ價格デモ、急速ニ全面的改正ヲナスノ要ガアルト考ヘタノデアリマスルガ、政府ハ何ガ故ニ此ノ御提案ヲナサレナカツタノカ

第二ニ御尋ネラ申上ガタイノハ、私ハ更ニ少シク問題ヲ掘下ゲテ考ヘテ見タイト思

フノデアリマス、今日所謂經濟事犯ナルモノハ非國家的行爲ダ、國賊デアルト呼バレマシテ、其ノ理由ノ如何ニ拘ラズ嚴罰ヲ以テ臨ンデ居ルノガ實情デアリマス、淘ニ文字通り非國家的行爲、國賊的事案モアルニハアリマスルガ、併シ中ニハ淘ニ氣ノ毒ナ事件モゴザイマシテ、必ズシモ非國家的行動ダ、國賊デアルナドトハ言ヒ難イモノモ數多イノデアリマス、斯ウシタ時ニ、昨年公ニサレマシタ改正刑法假案ノ第十一條ノ如キ改正ガ、若シ行ハレテ居ルト致シマシタナラバ、寛嚴宜シキヲ得タ、時局ニ對應スル適切ナ裁判ヲ下スコトガ出來、戰時下急造サレマス所ノ罰則ノ缺陷ヲ補ヒ、官民離間ヲ防グ調和剤トモナツテ、洵ニ適切ナコトデハナカツタカト思フノデアリマス、私ハ今十分ノ御理解ヲ願フ爲ニ、茲ニ一、二ノ實例ヲ申上ゲマシテ御勘考ヲ願ビ、且ツ切實ナル御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマス、私ノ縣デハ肉類ヲ行商致シテ居リマスル者ガアリマス、何レモ九・一八ノ「ストップ」令ニ依リマシテ價格方釘付ケニサレシテ、而モ國賊扱ヒヲセラレタ次第デアリマス、是ハ少々無理デハアリスマイカ、ソレノミデハゴザイマセヌ、マダ酷イノニシテモ、以前カラ非常ニ暴利ヲ貪ツテ高ク賣ツテ居リマシタ連中ハ、九・一八ノ十八日頃ニハマダ需要ガ少イノデアリマス、私ノ縣デハ肉類行商人ノ間ニ於キマナリマスト、同ジ肉類行商人ノ間ニ於キマシタ、所ガ此ノ肉類ト云フモノハ、九月ノ十八日頃ニハマダ需要ガ少イノデアリマス、隨ヒマシテ、價格モ安イ、十二月、一月、二月頃ノ寒イ時期ニ相成リマスルト、需要モ大變激增シテ參リマス、自然ニ價格デモ、急速ニ全面的改正ヲナスノ要ガアルト考ヘタノデアリマスルガ、政府ハ何ガ故ニ此ノ御提案ヲナサレナカツタノカ

第二ニ御尋ネラ申上ガタイノハ、私ハ更ニ少シク問題ヲ掘下ゲテ考ヘテ見タイト思

法規ニ觸レタ限り、事ノ如何ニ拘ラズ容赦ナク引張ラレマシテ、ピシ／＼ト極メ付ケラレル、剩々國賊呼バハリセラレテ居リマスコトガ普通デアリマス、是ハ一體如何ナル考ヘ方カラ來テ居ルデゴザイマセウカ、畢竟スルニ刑法三十八條ノ精神ガ強ク現ハレタノデハナイカト私共ハ思フ、刑法三十八條ニハ何トアルカ、「法律ヲ知ラサルヲ以テ罪ヲ犯ス意ナシト爲スコトヲ得ス」トアル、洵ニ其ノ氣持ハ能ク分リマス、法律ヲ知ラナカツタカラト云フノデ、逃げテシマハレマシタナラバ、ソレハ治マリカ付キマセヌ、併シ實際問題トシテ、本當ニ法律ヲ知ラナイデ、全ク善意デ行ヒマシタコトガ、思ビ、掛けナイコトデ引掛カリマシテ、涙ニ暮レテ居リマス向モ多數ニ上ツテ居ルト云フコトニ付テハ、相當考ヘテヤラナクテハナラスト思フ、農民ガ米ヲ作り、芋ヲ栽培スルニ致シマシテモ、肥料ノ買入カラ、資材ノ仕入ニ致シマシテモ、漁民ガ漁リヨシ、漁具ノ農漁網ノ手當ヲスルニ致シマシテモ、或ハ其ノ農漁民ガ生産品ヲ出荷スルニ致シマシテモ、神様ノヤウナ氣持デ職域奉公ノ精神ニ燃エツツヤツテ居リマス中ニ、何時何處デ思ヒ掛けナイ點デ引掛カルカモ分ラナイト云フ不安ニ曝サレテ居リマシタノデハ、生産擴充ノ上ニ及ボス影響モ大デアリ、爲政者モ慎重ニ考慮スベキデハナイカト私ハ信ズル者デアリマス、斯ク觀察シテ參リマシタ時ニ、洵ニ殘念ニ思フノハ、今回ノ刑法

改正ニ當リ、何ガ故ニ昨年成案ヲ得テ居リマシタ所ノ改正草案、第十一條ノ如キ改正案ヲ提出サレナカツタノカ、即チ其ノ草案第十一條ニ依リマスレバ斯様デアリマス、「法律ヲ知ラザルヲ以テ故意ナシト爲スコトヲ得ズ、但シ情狀ニ因リ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得、法律ヲ知ラザル場合ニ於テ自己ノ行爲ガ法律上許サレタルモノト信ジタルコトニ付キ、相當ノ理由アルトキハ其刑ヲ免除ス」トアリマス、時局柄洵ニ適切ナ改正デハナイカト私ハ思フ、固ヨリ惡辣ニシテ暴利ヲ食ルガ如キ輩ニ對シマシテハ、假藉ナク徹底的ニ嚴罰ヲ以テ臨マナケレバナリマセヌ、サレドモ善良ニシテ善意ナル國民ガ誤ツテ法規ニ觸レマシタ場合ニハ、一面之ニ伴フ所ノ缺陷ヲ補ヒ、國民ヲ救ヒ導クノ用意ガナクテハナラムト私ハ信ズル者デアル、斯クテコソ少々無理ナ檢舉ガアリマシテモ、國民怨嗟ノ府トナルコトナク、官民離間ヲ防ギ、眞ニ一心國家總力發揮ノ體制ガ整へ得ラレルモノデアルト私共ハ思フノデアリマス

更ニ今一つ重大ナ問題ハ、今日經濟違反事件ハ文字通り十把一束一律ニ、或ハ利得額或ハ超過額ノ二倍トカ三倍トカノ罰金ヲ申付ケマシテ、其ノ他ノ情狀ニ付テハ殆ド

ヲ受ケマシタ縣信聯ニ於キマシテ之ヲ賣ツタ、四十五圓五十錢デ賣レマス、實費一

ヲ差引イタ残リハ全部之ヲ農民ヘ返シマシタ、實費ガ假ニ茲ニ一圓要ツタ致シマスナラバ、四十五圓五十錢デ賣ツテ、實費一

シマシテモ、國民ノ弱點ニ付入ツテ、國民ヲ苦シメテ自分ガ儲カラウト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、犯狀憎ムベキモノト致シマシテ、五百圓ノ罰金ニ處シテモ宜カラウト思フ、ト同時ニ假令千圓ノ超過額違反ガアリマシテモ、國民生活ヲ害スルコトナ

ト云フヤウナ案件ニ付テハ、百圓ノ罰金デモ尙ホ高イデハナイカト私共ハ思フ(拍手)私ハ此處ニ切實ナル實例ヲ舉ゲテ御考察ヲ願ヒタイ

昨年私ノ方ノ高知縣ニ於キマシテ、米ガ非常ニ窮屈ヲ來シマシタ時分ニ、私ノ方ノ

玄米ハ公定價格四十二圓九十錢デゴザイマシタ、白米ノ小賣相場ガ四十五圓五十錢デゴザイマシタ、所ガドウシテモ右公定價格引イテ、四十四圓五十錢手許ニ入ルカラ、私ハ五十錢値良ク買ヒマセウ、四十五圓ニ

非賣ヒマセウト云フノデ、四十五圓ニ買ツテ來マシタ、而シテ之ヲ精白シテ四十五圓五十錢、元ノ白米公定價格通リニ一般需要者

米ヲ買ヒマシタ、縣信聯ノ方カラハ實費ヲ差入ラヌ、隨ヒマシテ米屋サンノ手許ニ入リマセヌ、

私ハ五十錢値良ク買ヒマセウ、四十五圓ニ買ヒマセウト云フノデ、四十五圓ニ買ツテ來マシタ、而シテ之ヲ精白シテ四十五圓五十錢、元ノ白米公定價格通リニ一般需要者

米ヲ買ヒマシタ、斯ルト警察ハ其ノ商人ガ玄米四十二圓九十錢ヨリ超過致シマスルコトニ

圓十錢、四十五圓デ買ツタカラト云フノデ、經濟違反トシテ之ヲ引張ツタ、米屋サンハ珠敷繫ギトナツデ、高イノニナリマスルト

アリマス、所ガ一面前カラ在庫品ガ澤山ニゴザイマシテ、米ガ窮屈ニナツタノニ乘ジテ、一ツボロ儲ケヲシテヤラウト云フノ

デ、或ル白米商ハ四十七圓デ賣リマシタ、スルト四十五圓五十錢ノ公定價格ニ對シ、

額一圓五十錢、オ前ハ一圓五十錢利得シタカラト云フノデ、一圓五十錢ノ利得ヲ基準四十七圓ニ賣ツタカラト云フノデ、其ノ差

商人ハ罰金ニナツタ、所ガ前ニ言ツタ通り自分ガ損ヲシテ配給シタ商人、四十五圓デ買ツテ四十五圓五十錢デ賣ツタノデハ引合ヒマセヌ、其ノ損ヲシテ御得意様ノ犠牲ニナツテ米ヲ配給シタ米屋サンハ、公定價格ト買入値段トノ開キガ二圓十錢ト云フノデ、石當リ二圓十錢ノ基準デ以テ罰金ヲ受ケマシタ、ボロ儲ケヲ致シマシタ者モ、或ハ犠牲ニナリマシタ者モ、十把一束、劃一的ニ利得額モ超過額モ同一視シ、謄寫板デ刷ツテ書記方書入レタラ宜イヤウナ工合ニシテ居ル、是ガ本當ノ裁判デゴザイマセウカ、是ハ今少シク本當ノ實情ト云フモノヲ十分ニ洞察シテ、刑事政策ヲ御立テニナラナケレバ、相當ニ重大ナル問題デアルト私ハ考ヘル、若シモ昨年公ニサレマシタ刑法改正草案ノ第五十七條、第五十九條ノヤウナ改正ガ今回提案サレテ居ツタト致シマスナラバ、斯ノ如キ弊害ハ根柢カラ是正セラレタデアリマセウ、其ノ草案ニハドウアルカ、斯様ニアリマス、第五十七條「刑ノ適用ニ付テハ犯人ノ性格年齢及境遇竝犯罪ノ情狀及犯罪後ノ狀況ヲ考察シ特ニ左ノ事項ヲ參酌スベシ」トアリマシテ、中略、第三號ニ「犯罪ノ動機ガ忠孝其ノ他ノ道義上又ハ公益上非難シキモノナリヤ否ヤ、又ハ宥恕スペキモノノ額ヲ定メヨトアリマス、又第五十九條ニハ「罰金ノ適用ニ付テハ犯人ノ資產、收入、信用及犯罪行爲ニ因リ又ハ犯罪行爲ノ報酬

トシテ得タル利益ヲモ參酌スベシ」トアルノデゴザイマス、洵ニ適切ナル改正案デアリマシテ、何故ニ今回ノ改正ニ於テ、斯ウツテ米ヲ配給シタ米屋サンハ、公定價格ト買入値段トノ開キガ二圓十錢ト云フノデ、石當リ二圓十錢ノ基準デ以テ罰金ヲ受ケマシタ、ボロ儲ケヲ致シマシタ者モ、或ハ犠牲ニナリマシタ者モ、十把一束、劃一的ニ利得額モ超過額モ同一視シ、謄寫板デ刷ツテ書記方書入レタラ宜イヤウナ工合ニシテ居ル、是ガ本當ノ裁判デゴザイマセウカ、是ハ今少シク本當ノ實情ト云フモノヲ十分ニ洞察シテ、刑事政策ヲ御立テニナラナケレバ、相當ニ重大ナル問題デアルト私ハ考ヘル、若シモ昨年公ニサレマシタ刑法改正草案ノ第五十七條、第五十九條ノヤウナ改正ガ今回提案サレテ居ツタト致シマスナラバ、斯ノ如キ弊害ハ根柢カラ是正セラレタデアリマセウ、其ノ草案ニハドウアルカ、斯様ニアリマス、第五十七條「刑ノ適用ニ付テハ犯人ノ性格年齢及境遇竝犯罪ノ情狀及犯罪後ノ狀況ヲ考察シ特ニ左ノ事項ヲ參酌スベシ」トアリマシテ、中略、第三號ニ「犯罪ノ動機ガ忠孝其ノ他ノ道義上又ハ公益上非難シキモノナリヤ否ヤ、又ハ宥恕スペキモノノ額ヲ定メヨトアリマス、又第五十九條ニハ「罰金ノ適用ニ付テハ犯人ノ資產、收入、信用及犯罪行爲ニ因リ又ハ犯罪行爲ノ報酬

トシテ得タル利益ヲモ參酌スベシ」トアルノデゴザイマス、洵ニ適切ナル改正案デアリマシテ、何故ニ今回ノ改正ニ於テ、斯ウツテ米ヲ配給シタ米屋サンハ、公定價格ト買入値段トノ開キガ二圓十錢ト云フノデ、石當リ二圓十錢ノ基準デ以テ罰金ヲ受ケマシタ、ボロ儲ケヲ致シマシタ者モ、或ハ犠牲ニナリマシタ者モ、十把一束、劃一的ニ利得額モ超過額モ同一視シ、謄寫板デ刷ツテ書記方書入レタラ宜イヤウナ工合ニシテ居ル、是ガ本當ノ裁判デゴザイマセウカ、是ハ今少シク本當ノ實情ト云フモノヲ十分ニ洞察シテ、刑事政策ヲ御立テニナラナケレバ、相當ニ重大ナル問題デアルト私ハ考ヘル、若シモ昨年公ニサレマシタ刑法改正草案ノ第五十七條、第五十九條ノヤウナ改正ガ今回提案サレテ居ツタト致シマスナラバ、斯ノ如キ弊害ハ根柢カラ是正セラレタデアリマセウ、其ノ草案ニハドウアルカ、斯様ニアリマス、第五十七條「刑ノ適用ニ付テハ犯人ノ性格年齢及境遇竝犯罪ノ情狀及犯罪後ノ狀況ヲ考察シ特ニ左ノ事項ヲ參酌スベシ」トアリマシテ、中略、第三號ニ「犯罪ノ動機ガ忠孝其ノ他ノ道義上又ハ公益上非難シキモノナリヤ否ヤ、又ハ宥恕スペキモノノ額ヲ定メヨトアリマス、又第五十九條ニハ「罰金ノ適用ニ付テハ犯人ノ資產、收入、信用及犯罪行爲ニ因リ又ハ犯罪行爲ノ報酬

トシテ得タル利益ヲモ參酌スベシ」トアルノデゴザイマス、洵ニ適切ナル改正案デアリマシテ、何故ニ今回ノ改正ニ於テ、斯ウツテ米ヲ配給シタ米屋サンハ、公定價格ト買入値段トノ開キガ二圓十錢ト云フノデ、石當リ二圓十錢ノ基準デ以テ罰金ヲ受ケマシタ、ボロ儲ケヲ致シマシタ者モ、或ハ犠牲ニナリマシタ者モ、十把一束、劃一的ニ利得額モ超過額モ同一視シ、謄寫板デ刷ツテ書記方書入レタラ宜イヤウナ工合ニシテ居ル、是ガ本當ノ裁判デゴザイマセウカ、是ハ今少シク本當ノ實情ト云フモノヲ十分ニ洞察シテ、刑事政策ヲ御立テニナラナケレバ、相當ニ重大ナル問題デアルト私ハ考ヘル、若シモ昨年公ニサレマシタ刑法改正草案ノ第五十七條、第五十九條ノヤウナ改正ガ今回提案サレテ居ツタト致シマスナラバ、斯ノ如キ弊害ハ根柢カラ是正セラレタデアリマセウ、其ノ草案ニハドウアルカ、斯様ニアリマス、第五十七條「刑ノ適用ニ付テハ犯人ノ性格年齢及境遇竝犯罪ノ情狀及犯罪後ノ狀況ヲ考察シ特ニ左ノ事項ヲ參酌スベシ」トアリマシテ、中略、第三號ニ「犯罪ノ動機ガ忠孝其ノ他ノ道義上又ハ公益上非難シキモノナリヤ否ヤ、又ハ宥恕スペキモノノ額ヲ定メヨトアリマス、又第五十九條ニハ「罰金ノ適用ニ付テハ犯人ノ資產、收入、信用及犯罪行爲ニ因リ又ハ犯罪行爲ノ報酬

トシテ得タル利益ヲモ參酌スベシ」トアルノデゴザイマス、洵ニ適切ナル改正案デアリマシテ、何故ニ今回ノ改正ニ於テ、斯ウツテ米ヲ配給シタ米屋サンハ、公定價格ト買入値段トノ開キガ二圓十錢ト云フノデ、石當リ二圓十錢ノ基準デ以テ罰金ヲ受ケマシタ、ボロ儲ケヲ致シマシタ者モ、或ハ犠牲ニナリマシタ者モ、十把一束、劃一的ニ利得額モ超過額モ同一視シ、謄寫板デ刷ツテ書記方書入レタラ宜イヤウナ工合ニシテ居ル、是ガ本當ノ裁判デゴザイマセウカ、是ハ今少シク本當ノ實情ト云フモノヲ十分ニ洞察シテ、刑事政策ヲ御立テニナラナケレバ、相當ニ重大ナル問題デアルト私ハ考ヘル、若シモ昨年公ニサレマシタ刑法改正草案ノ第五十七條、第五十九條ノヤウナ改正ガ今回提案サレテ居ツタト致シマスナラバ、斯ノ如キ弊害ハ根柢カラ是正セラレタデアリマセウ、其ノ草案ニハドウアルカ、斯様ニアリマス、第五十七條「刑ノ適用ニ付テハ犯人ノ性格年齢及境遇竝犯罪ノ情狀及犯罪後ノ狀況ヲ考察シ特ニ左ノ事項ヲ參酌スベシ」トアリマシテ、中略、第三號ニ「犯罪ノ動機ガ忠孝其ノ他ノ道義上又ハ公益上非難シキモノナリヤ否ヤ、又ハ宥恕スペキモノノ額ヲ定メヨトアリマス、又第五十九條ニハ「罰金ノ適用ニ付テハ犯人ノ資產、收入、信用及犯罪行爲ニ因リ又ハ犯罪行爲ノ報酬

度ノ法案モ得テ居ラズ、又内外ノ情勢カラ考ヘマシテモ、取急イデ法案ヲ作り、今議會ニ全部改正ノ案ヲ提出スルコトモ如何カト考ヘマシテ、全部改正ノ案ハ提出スルニ至ラナカツタ次第アリマス、此ノ點御詫承ヲ願ヒマス。

次ニ經濟事犯ニ付テ、非常ニ憐レナル、又事情ニ合ハヌヤウナ事柄ガ多々アルト云ツテ例ヲ御示シニナリマシタガ、或ハ法ノ周知ガ行渡ラナカツタリ、或ベ色々ナ事情デ左様ナコトガアツタカモ知レマセヌガ、御説

○議長(小山松壽君) 一寸北浦君、御待チ下サイ——佐竹君、何カ御質疑ガアリマスカ——司法大臣
〔國務大臣柳川平助君登壇〕
○國務大臣(柳川平助君) 答辯ガ盡シテ居リマセヌカラ尙申上ゲマス、將來成案ヲ通リ寛嚴宜シキヲ得、法ガ強ケレバ强大イグケ事情ニ能ク適合シナケレバナラスト云フコトハ、御意見ノ通りノ次第アリマスカラ、國家ノ綱紀ノ肅振ヲ害セザル範圍ニ於キマシテ酌量ノ出來ルダケハ酌量ヲシテ、事情ニ適合セシムルヤウニ努メテ居ルノデアリマスガ、將來一層サウ云フ取扱ヲシタイト思ツテ居ル次第アリマス、法律ヲ知ラナイ場合ニ於キマシテモ、犯罪ノ成立スルコトハ御説ノ通りアリマスガ、情狀ニ依リマシテ檢事ハ之ヲ起訴セザルコトモアリ、又一旦起訴セラレマシテモ、裁判ニ於テ十分酌量スルヤウニ取扱フコトニ致シタイト考ヘテ居ル次第アリマス、要スルニ尤モノコトモ多イノデゴザイマスカラ、司

○議長(小山松壽君) 北浦君、一寸御待チマス(拍手)
〔「委員會ハ官報ニ載ラヌ」「司法次官答辯シロ」ト呼ビ、其他發言スル者アリ〕
○議長(小山松壽君) 北浦君、一寸御待チマス(拍手)
○佐竹晴記君 只今ノ點ニ付テ、司法次官カラデモ結構アリマスカラ、御答辯願ヒ

○議長(小山松壽君) 佐竹君、宜シウゴザシタ所ノ檢事ノ論告ノ調子ゴザイマス、シタ所ノ處罰シタノ如キ思想ハ、實ニ誤レルノドモ、併シナガラソレヲ處罰スル價值ノアルコトハ、自己ノ職務ニ付テ賄賂ヲ取ツタルコト同様アリマスノデ、今回ノ改正ニ於キマシテハ、其ノ點ニ付テモ處罰シヨウ、斯ウ云フコトデ規定シタ次第アリマスカラ、二十五年ノ悲痛ナル訓練ヲ積ンデ、

○議長(小山松壽君) 佐竹君、宜シウゴザシテハ道理アル處刑ゴザイマスガ、我が國人ゴザイマス、隨テ靴一足ノ違反デ之ヲ死刑ニ處シマシテモ、「ナチス」ニ於キマ

制裁ニ十分努メマシテ、法ノ運用實嚴宜シキヲ得ルコトニ、全幅ノ努力ヲ致シタイト

○議長(小山松壽君) 司法次官
〔政府委員三宅正太郎君登壇〕

夕刑法中改正法律案ハ、過日上程致サレマシタ總動員法中改正法律案ト、密接ナル關係アルコト深ク信ズル者ゴザイマス、

存ジテ居ル次第ゴザイマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 北浦圭太郎君
〔答辯ガ残ツテ居ル」ト呼ビ其ノ他發言スル者アリ〕

○議長(小山松壽君) 司法次官
〔政府委員三宅正太郎君登壇〕

何トナレバ、今回ノ刑法中改正法律案ニハ、ニ關スルコトニ付テ瀆職罪ヲ行ツタ場合、トニ依ツテ明白ゴザイマシテ、ソコデ時局ト深イ關係ヲ持チマス所ノ、此ノ刑法中其ノ點ニ付キマシテ事例ヲ申上ゲマスト、從來ハ公務員ハ其ノ職務ニ關シテ賄賂ヲ收受シタ場合ニ罪トナルノデアリマシテ、其ノ職務ノ範圍外ニ瓦リマシテ、其ノ事項ニ付テ賄賂ヲ取りマシテモ處罰ヲ受ケナインデアリマス、然ルニ御承知ノ通リ公務員ガ他ノ公務員、例へバ同ジ官廳ニ勤メテ居リマシテモ、自分ノ職務權限以外ノ權限ヲ持ツテ居リマス同僚ノ職務範圍ニ付テ、他ノ者カラ請託ヲ受ケ、ソレニ付テ斡旋ヲ致シマシタト云フ爲ニ、其ノ斡旋ニ付テ賄賂ヲ取ツタト云フ場合ニ於テハ、自己ノ職務ニ關シテ賄賂ヲ取ツタノデハアリマセヌケレドモ、併シナガラソレヲ處罰スル價值ノアルコトハ、自己ノ職務ニ付テ賄賂ヲ取ツタ場合ト同様アリマスノデ、今回ノ改正ニ於キマシテハ、其ノ點ニ付テモ處罰シヨウ、斯ウ云フコトデ規定シタ次第アリマスカラ、二十億ノ償金ノ爲ニ、國民奴隸ノドン底生活カラ、二十五年ノ悲痛ナル訓練ヲ積ンデ、

日本ニ於キマシテハ、全國民齊シク陛下ノ

心ニ懇ヘテ、犯罪豫防ニ全力ヲ盡スペキダト申スノデゴザイマト信ズルノデゴザイマス、今日ノ如ク法令ガ頻發サレマシテハ、判事ト雖モ、檢事ト雖モ、亦吾々辯護士ト雖モ、之ヲ知ルト云フコトハ困難ト言ハシヨリハ、寧ロ不可能デゴザイマス、假ニ價格統制令第七條ダケヲ讀ンデ見マシテモ、實ニ厖大ナル一冊ノ書物が出來マス、現ニ過日上程致サレマシタ總動員法中改正法律案ニ於キマシテモ、大部分ノ條文ハ總テ其ノ具體的條項ヲ勅令ニ譲ツテ居リマスカラ、定メシ又厖大ナル改正法ト相成ルデアリマセウガ、是等ノ法令ノ總テヲ國民ニ知ラシメルト云フコトハ、大ナル難事業ニハ相違ゴザイマセヌ、併シ政府ハ盛シニ制裁法規ヲ出し、國民ハ何モ知ラナイ、「ホテル」ノ「サービス」料ヲ今マデ通リ貰ツテ居ル、部屋代等モ何モ知ラナイデ貰ツテ居ル、ソコヘ警察が喚ビニ參ル、何ノ用カト思ツテ行ツテ見スマト、オ前ハ豚箱ニ入ツテ居レト、サウシテ五日モ十日モ留置サレ、取調ヲ受ケテ、初メテ自分ノ貰ツタ「サービス」料ガ違反デアルト云フコトヲ知ルノデゴザイマス、斯クテハ斷ジテ銃後ノ大切ナル國民ヲ待遇スル途デハゴザイマセヌ(ヒヤー)、ソコデ私ハ簡単ニ實例ヲ以テ申上ゲマスガ、今日大豆ノ統制價格ハ石三十五圓デアル、地方ノ農民ハ左様ナコトハ知リマセヌ、然ルニ昨年ノ十一月頃、一大字百戸ノ中寶ニ七十戸程ト云フモノガ自作ノ豆ヲ持寄

リマシテ、石五十圓デラ賣却シタ、是方警察ノ耳ニ入リマシテ、チヨツト來イト喚バレ、其ノ主ナル者ハ二十日間モ警察ニ留置サレ、一大字大變ギヨヤツタト云フ事實ハゴザイマス、然ルニ其ノ七十戸ノ大部分ハ、大豆ノ最高販賣價格ヲ知ラナカツタ者デアルコトハ勿論デゴザイマスガ、茲ニ司法當局ノ御注意ヲ願ハナケレバナラスノハ、是ガ一旦刑事記錄トシテ公表サレル場合ニハ、總テ前カラ存ジテ居リマシタ、知ツテ居リマシタト必ズ記録ニ載ツテ來ル、ソレハ檢事や警察ノ訊問ニ對シテ、斷然抗争スル力ガナカラデアツテ、今地方ノ農家方總テノ物品價格ヲ知ツテ居ルト斷定スルノガ無理デゴザイマス、是ハ一例ニ過ぎナイノデゴザイマシテ、コンナ例ハ他ニ幾ラモアリマスガ、此處ニハ省略致シマス、ソコデ是等ノ被告人ニ對シ、必ズ利得ノ何倍力ニ相當スル罰金ヲ科セラレルノデゴザイマスルガ、而モ今日ノ所デハ、罰金ノ最高額ガ五千圓ト相成ツテ居リマスルカラ、闇ノ利得一万圓、二万圓ト增加スルニ連レマシテ、檢事ニ於キマシテハ例外ナク體刑ヲ求刑スル、今日以後ハ此ノ刑罰ガ益々重クナリ、國民ノ刑務所ニ叩キ込マレル者ハ、愈々多クナルニ相違ゴザイマセヌ、ソコデ私は政府ニ對シテ提案ガアルノデゴザイテ使用スペキ言葉デゴザイマセウカ、ソコデ私ハ政府ニ對シテ提案ガアルノデゴザイテ、愧死スペシト云フコトヲ新聞ニ公ニ致シテ居リマシタガ、是等ハ一體同胞ニ對シル警察部長ハ米ノ闇ヲヤツタ人々ヲ捕へゴザイマス、戰前大抵二、三圓ノ小遣ヲ貰テ、餓死スペシト云フコトヲ新聞ニ公ニ致シテ居リマシタガ、是等ハ一體同胞ニ對シルニ從ヒマシテ、一寸旋盤ノ「ハンドル」ヲツテ居ツタ青少年ガ、戰時工業ノ旺盛トナマスルガ、大阪デハ之ヲセンブリヲ掛ケルト言フ、東京デモ亦一種ノ「テクニック」ガゴザイマス、戰前大抵二、三圓ノ小遣ヲ貰ト、優ニ月五六十圓カラ百圓、百二、三十圓モノ金ヲ貰フ、小人壁ヲ懷イテ罪アリデ、彼等ハ最初ノ程ハ「カフエ」ニ入り浸ツテ居リマスガ、段々增長致シマシテ、惡イ機会ニ惡イ場所ニ臨ミ、時ニ職長アタリカラ連レラレテ、色々ナコトヲ覺エテ、次第ニ

規ノ發布毎ニ、全國民ニ對シテ、ナゼ此ノス、又辯護士モ澤山居ラレマス、警察官等シテ居リマシテ、之ヲ十分ニ知ラシメル、單ニ知ラシメルダケハイケナイ、立法理由モ併セ知ラシメテ、國民ノ愛國心ニ懇ヘ、闇行

爲ヲ絶滅セシムベキダト申スノデゴザイマス、ソレニハ立法理由ヲ知ラシメナケレバナリマセヌ、何故ニ從來ノ總動員法ヲ改正スカ、祖先傳來ノ土地家屋デモ、如何ナル必要ガアツテ收用セラレルノデアルカ、徳川時代カラノ家業デモ、不急要ノ事業トシテ整理サレルノモ、是亦國家ノ爲ニ斯ウ云ハ、是ガ一旦刑事記錄トシテ公表サレル場合ニハ、總テ前カラ存ジテ居リマシタ、知ツテ居リマシタト必ズ記録ニ載ツテ來ル、ソレハ檢事や警察ノ訊問ニ對シテ、斷然抗争スル力ガナカラデアツテ、今地方ノ農家方總テノ物品價格ヲ知ツテ居ルト斷定スルノガ無理デゴザイマス、是ハ一例ニ過ぎナイノデゴザイマシテ、コンナ例ハ他ニ幾ラモアリマスガ、此處ニハ省略致シマス、ソコデ是等ノ被告人ニ對シ、必ズ利得ノ何倍力ニ相當スル罰金ヲ科セラレルノデゴザイマスルガ、而モ今日ノ所デハ、罰金ノ最高額ガ五千圓ト相成ツテ居リマスルカラ、闇ノ利得一万圓、二万圓ト增加スルニ連レマシテ、檢事ニ於キマシテハ例外ナク體刑ヲ求刑スル、今日以後ハ此ノ刑罰ガ益々重クナリ、國民ノ刑務所ニ叩キ込マレル者ハ、愈々多クナルニ相違ゴザイマセヌ、ソコデ私は政府ニ對シテ提案ガアルノデゴザイテ使用スペキ言葉デゴザイマセウカ、ソコデ私ハ政府ニ對シテ提案ガアルノデゴザイテ、愧死スペシト云フコトヲ新聞ニ公ニ致シテ居リマシタガ、是等ハ一體同胞ニ對シル警察部長ハ米ノ闇ヲヤツタ人々ヲ捕へゴザイマス、戰前大抵二、三圓ノ小遣ヲ貰テ、餓死スペシト云フコトヲ新聞ニ公ニ致シテ居リマシタガ、是等ハ一體同胞ニ對シルニ從ヒマシテ、一寸旋盤ノ「ハンドル」ヲツテ居ツタ青少年ガ、戰時工業ノ旺盛トナマスルガ、大阪デハ之ヲセンブリヲ掛ケルト言フ、東京デモ亦一種ノ「テクニック」ガゴザイマス、戰前大抵二、三圓ノ小遣ヲ貰ト、優ニ月五六十圓カラ百圓、百二、三十圓モノ金ヲ貰フ、小人壁ヲ懷イテ罪アリデ、彼等ハ最初ノ程ハ「カフエ」ニ入り浸ツテ居リマスガ、段々增長致シマシテ、惡イ機会ニ惡イ場所ニ臨ミ、時ニ職長アタリカラ連レラレテ、色々ナコトヲ覺エテ、次第ニ

法律ガ必要デアルカト云フ立法理由ヲ説明シ、理解セシメテ、國民ノ愛國心ニ懇ヘテ、締制違反豫防ノ策ヲ講ゼラレンコトヲ切望スルモノデゴザイマス(拍手)即チ司法大臣、内務大臣ハ、立法理由ニ認識深キ判檢事、辯護士、司法警察官等ヲ總動員致サレマシテ、全國民ラシテ新法令ノ發令毎ニ之ヲ知ラシメ、之ヲ理解セシメテ、先づ違反豫防ニ力ヲ盡スペキ機構ヲ整備セラレル意思ナキヤ否ヤ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス第三ハ、刑法上ノ時局犯デゴザイマスルガ、是ハ内務大臣、文部大臣ニ御伺ヒ致シタイノデゴザイマス、刑法上ノ時局犯ニ付テデゴザイマスルガ、近時青年職工強盜事犯ト云フモノガ非常ニ多イ、此ノ種ノ犯罪ハ東京ヤ大阪等ノ大都會ニ多イノデゴザイマスルガ、大阪デハ之ヲセンブリヲ掛ケルト言フ、東京デモ亦一種ノ「テクニック」ガゴザイマス、戰前大抵二、三圓ノ小遣ヲ貰テ、餓死スペシト云フコトヲ新聞ニ公ニ致シテ居リマシタガ、是等ハ一體同胞ニ對シル警察部長ハ米ノ闇ヲヤツタ人々ヲ捕へゴザイマス、戰前大抵二、三圓ノ小遣ヲ貰テ、餓死スペシト云フコトヲ新聞ニ公ニ致シテ居リマシタガ、是等ハ一體同胞ニ對シルニ從ヒマシテ、一寸旋盤ノ「ハンドル」ヲツテ居ツタ青少年ガ、戰時工業ノ旺盛トナマスルガ、大阪デハ之ヲセンブリヲ掛ケルト、優ニ月五六十圓カラ百圓、百二、三十圓モノ金ヲ貰フ、小人壁ヲ懷イテ罪アリデ、彼等ハ最初ノ程ハ「カフエ」ニ入り浸ツテ居リマスガ、段々增長致シマシテ、惡イ機会ニ惡イ場所ニ臨ミ、時ニ職長アタリカラ連レラレテ、色々ナコトヲ覺エテ、次第ニ

定リノ遊興資金ニ困ツテ參リマシテ、遂ニ
惡事ヲ働くヤウナコトニ相成ルノデゴザイ
マス、最初ハ冗談混リニ相應結致シマシテ、
町ノ少年少女ヲ街頭ニ捉へ、一寸賴マレ
テ吳レト稱シテ、人通リノ少イ場所ニ連レ
テ晝間シテ居リマスガ、何分少年少女ガ相
手デハ大シタ金モ手ニ入りマセヌ、ソコデ
段々大膽ニナツテ參リマシテ、大人ヲ襲撃
テ脅喝シテ居リマスガ、何分少年少女ガ相
手デハ大シタ金モ手ニ入りマセヌ、ソコデ
スルヤウニナリマス、然ルニ大人ノ中ニハ
可ナリ手強イ者モ現ハレテ參リマスカラ、
遂ニハ白晝小刀ヲ忍バセテ人ヲ脅カスヤウ
ニナリマシテ、遂ニハ人ヲ傷ケ金品ヲ強奪致
シマス、彼等ガ現ニ犯シツツアル犯罪ガ、
如何ニ恐ルベキ大罪ナルカア知リマセヌ、
ニ改悛致シマスガ、モウ其ノ時ハ既ニ遲イ、
サウシテ懲役三箇年或ハ四年ヲ言渡サレ、
刑務所ニ送ラレテ行クノデアリマスガ、看
過シ得ナイコトハ是等ノ青少年ハ大抵入營
務所ニ入ツテ、國家ノオ役ニ立ツコトガ出
來ナイ、是ハ國家トシテモ大ニ考ヘナケレ
バナラヌノデアリマス、戰前ニ於キマシテ
ハ、大抵ノ大工場ニハ夜學校ノ設備ガアツ
テ、是等青年勞働者ヲ教育シテ居ツタノデ
アリマスガ、戰時ニ入ツテ此ノ事ガ頗ル怠
慢ニナツテ參ツタヤウニ感ゼラルルノデア

リマス、殊ニ今日ノヤウニ旋盤ノ一、三臺モ
アレバ收入ノ十分ナル時代ニ於キマシテハ、
到ル處ニ小工場ガ設立セラレマシテ、一工
場デ一夜學校ハ設備ガ出來マセヌ……
○議長(小山松壽君) 北浦君ニ御注意致シ
マス、モウ打合セノ時間ガ過ギテ居リマス
○北浦圭太郎君(續) 私ハ時間ノ打合セノ
コトハ聽イテ居リマセヌ
○議長(小山松壽君) アナタニ與ヘラレタ
時間ヲ七分過ギテ居リマス、簡單ニ……
○北浦圭太郎君(續) 私ハ時間ノコトハ聽
イテ居リマセヌガ、宜シウゴザイマス、ソコデ
政府ハ大工場ハ獨立致シマシテ、小工場ハ
聯合致シマシテ、已ムヲ得ナケレバ小學校
犯罪ノ豫防法デアルト同時ニ、青年教育ニ絶好
ノ機會ヲ與ヘルモノト信ジマスルガ、内務大
臣又ハ文部大臣ノ御意見如何デゴザイマスル
カ、尙ホハ質問シタイコトガニ二項バカリア
ルノデアリマスガ、七分時間ヲ過ギタ云フ
コトデアリマスカラ、是終リマスガ、以上
三點ニ付テ各關係當局ノ御答辯ヲ願ヒタイ
ノデアリマス(拍手)

(國務大臣柳川平助君登壇)
○國務大臣 柳川平助君 質問ノ第一點
ハ、嚴罰ヲ伴フ法規ガ多ク制定セラレルガ、
之ヲ罰スルバカリデハイケナイ、如何ナル
豫防方法ヲ講ズルカト云フ御尋ネデアリマ
ス、是ハ次ノ質問ニモ關聯シテ居リマスガ、
存ズルノデアリマス
次ニ經濟事犯ハ政府ノ朝令暮改ニ依
ルコトニ依ツテ、豫防スル必要ガアラウト
固ヨリ教化、注意等ニ依リマシテ、過チヲ
犯ス心ヲ直スト云フ外ニ、法ヲ周知セシメ
マスガ御答ヘ申上ゲマス

○政府委員(賣場軍藏君登壇)
○議長(小山松壽君) 賣場内務次官
司法當局トシテ所見ヲ尋ネラレタノデア
リマスガ、曩ニモ御答ヘ致シマシタヤウニ、
此ノ經濟ノ統制ニ關スル諸法規ハ、戰時下
ガ國民ニ周知セラレズ、又避ケントシテ避
事已ムヲ得ズ制定セラレタモノガ多イノ
デアリマシテ、中ニハ御述ベノヤウニ、法
律レナカツタヤウナ事情ノアルコトハ、
尤モデアルト思フノデアリマス、仍テ其ノ取
扱ニ付キマシテハ、十分ニ事情ヲ酌量シ
テ、無理ノナイヤウニ運用致シタク努メマ
スガ、御述ベニナリマシタ立法ノ理由ヲ、
併セテ國民ニ知ラシムル方法ニ付キマシテ
ハ、萬般ノ手段ヲ執リタイト存ジテ居リマ
ス、只今北浦サンノ述ベラレマシタ警察官、
地方ニ在ル司法官、或ハ辯護士等、各方面
ノ人ヲ合同若クハ協力セシメ、立法ニ當ツ
テ制定前カラ其ノ事由ヲ國民ニ徹底セシム
ト云フ御質問デアリマス、御説ノ通り青少
年犯罪ノ増加ノ趨勢ハ事實デアリマシテ、
對シテ政府ハドウ云フ對策ヲ講ジテ居ルカ
ト云フ御質問デアリマス、御説ノ通り青少
年犯罪ノ増加ノ趨勢ハ事實デアリマシテ、
淘ニ憂慮ニ堪ヘナイ次第デアリマス、之ニ
對シマシテ成ベク其ノ豫防ヲ期スル爲ニ、
警察ト致シマシテ色々方法ヲ講ジテ居ルノ
デアリマスガ、御承知ノ通り唯警察ノ力バ
カリデハ是ハ及ビマセヌ、現在警察ト致シ
マシテ、或ハ工場ノ關係者、或ハ保護者其
ノ他ト萬全ノ連絡ヲ取リマシテ、此ノ絶無
期シテ居ル次度デアリマスガ、事柄ガ中

中廣汎ニ瓦ツテ居ルコトデアリマシテ、今後一層ノ努力ヲ必要ト致シマス、政府各方面トモ連絡ヲ取リマシテ、十全ノ努力ヲ致シタイト思フ次度デアリマス

○議長（小山松壽君） 小島商工次官
〔政府委員小島新一君登壇〕

○政府委員（小島新一君） 北浦サンノ御質疑ノ第一點、即チ經濟統制違反ノ防止ニ關シマシテ、產業統制法規ノ制定實施ニ付テノ御質問デゴザイマスルガ、最近經濟事情ノ急速ナル變化ニ即應スル爲ニ、各種ノ經濟統制ノ法規が頻發セラレマシタコトハ、是等ノ統制法規ノ制定ニ當リマシテハ、出来得ル限リ民間ノ知識經驗ニ聽キマシテ、實情ニ即シタル法規ヲ制定スルヤウニ、最善ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、其ノ實施運用ニ當リマシテモ、商工省ト致シマシテハ、經濟統制強化ノ必要ナル事情、統制法規ノ具體的ノ内容等ニ付キマシテハ、出來得ル限リ徹底ノ行キマスヤウニ、注意致シテ参りタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○議長（小山松壽君） 文部省政府委員
〔政府委員藤野惠君登壇〕

○政府委員（藤野惠君） 北浦サンノ第三問、青少年工ノ徳性上遺憾ガアル、之ニ對シテ夜間ノ教育施設充實等ノコトニ付テ、當局ノ所見ヲ聽キタイト云フ御質疑ニ御答申上ダマス

御述ベノゴザイマシタ通り、輓近青少年職工等ノ方面ニ於キマシテ、殊ニ工場密集地帶等ニ於テ、段々御述ベノゴザイマシタヤウナ傾向ノアリマスコトハ、當局ト致シマシテモ拘ニ殘念ナコトニ存ジテ居リマス、殊ニ現下ノ事情ノ下ニ於キマシテハ、此ノシマシテ、産業統制法規ノ制定實施ニ付テノ御質問デゴザイマスルガ、最近經濟事情ノ急速ナル變化ニ即應スル爲ニ、各種ノ經濟統制ノ法規が頻發セラレマシタコトハ、是等ノ統制法規ノ制定ニ當リマシテハ、出来得ル限リ民間ノ知識經驗ニ聽キマシテ、實情ニ即シタル法規ヲ制定スルヤウニ、最善ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、其ノ實施運用ニ當リマシテモ、商工省ト致シマシテハ、經濟統制強化ノ必要ナル事情、統制法規ノ具體的ノ内容等ニ付キマシテハ、出來得ル限リ徹底ノ行キマスヤウニ、注意致シテ参りタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○議長（小山松壽君） 服部君ノ動議ニ御異議ノ傾向ニ付キマシテ、教育上特段ノ留意ヲ要スルモノト考ヘマスルノデ、御意見ノアル所ハ當局ト致シマシテモ全ク御同感申上ゲル所デアリ、今後モ十分ノ注意ヲ致シテ參りタイト存ジマス、尙ホ之ニ付キマシテハ、幸ヒニ致シマシテ青年學校義務制ノ實施モ、御協賛ヲ經マシテ逐年學年ヲ増備致シテ居リマス、青年學校義務制實施ノ振興ト、又一面ニハ家庭教育ノ上ニ於キマシテ、是非是等幼少年ノ職工等ニ付キマシテ、過チニ陥ルコトノナイヤウニ、是ガ振興ヲ圖ルコトノ必要ヲ認メマシテ、本年度ニ於キマシテモ、特ニ是ガ振興ニ關スル若干ノ経費ヲ計上致シマシテ、御協賛ヲ得マシタヤウナ次第デゴザイマス、尙ホ青年學校、家庭教化機關、譬へテ申シマスルナラバ、補導聯盟等ノ機關トモ十分連繫ヲ致シマシテ、此ノ點ハ御趣旨ノアル所ヲ尊重致シ、御憂慮ヲ戴クヤウナコトノナイヤウニ、今後十分ニ教育各方面ノ徳性涵養ノ實ヲ收メルヤウニ努力致シタイト考ヘマス、簡単デゴザイマスガ御答辯申上ダマス

○議長（小山松壽君） 是ニテ質疑ハ終了致

シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御詰リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ政府提出、借地法中改正法律案外一件委員ニ併セ付託サレントヲ望ミマス

○議長（小山松壽君） 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第一二、治安維持法改正法律案、第一讀會ノ續委員長服部英明君

ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——

第二 治安維持法改正法律案（政府提出） 第一讀會ノ續（委員長報告） 報告書

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候段及報告候也

昭和十六年二月十九日

委員長 服部 英明

衆議院議長 小山松壽殿

〔服部英明君登壇〕

○議長（小山松壽君） 文部省政府委員
〔政府委員藤野惠君登壇〕

○政府委員（藤野惠君） 北浦サンノ第三問、青少年工ノ徳性上遺憾ガアル、之ニ對シテ夜間ノ教育施設充實等ノコトニ付テ、當局ノ所見ヲ聽キタイト云フ御質疑ニ御答申上ダマス

法改正法律案ハ、其ノ内容國體ニ關スル重要事デアリマスノミナラズ、現行法ニ其ノ全般ニ瓦ル重大ナル改正ヲ加ヘントスルモノデアリマス、啻ニ新タナル罰條ヲ設クルニ止マラズ、特別刑事手續及ビ豫防拘禁ニ關スル規定ヲモ加ヘテ居ルノデアリマスカラ、本委員會ハ特ニ慎重審議ノ必要ヲ認メ、去ル十二ヨリ十九日マデノ間、七回ニ瓦ツテ審議ヲ重ネマシタ、其ノ間祕密會ニ於テハ、内外地ノ思想情勢及ビ改正ヲ必要トスル實際的事情等ヲ詳細ニ聽取致シマシタ、熱心ニシテ且ツ忌憚ナキ質問應答ヲ行ツタ上、本月十九日採決致シマシタ所、全會一致ヲ以テ政府原案ニ贊意ヲ表シタノデアリマス、本案ハ極メテ重要な法律案デアリマシテ、一タビ之ニ觸レマスト忽チ引括ラレルト云フ恐ロシイ法律デアリマスカラ、只今改正ノ要點ヲ申上ダゲテ置キタイト思ヒマス

刑罰規定ニ關シマシテハ、一、國體ヲ變革スルコトヲ目的トスル犯罪ト、私有財產制度ヲ否認スルコトヲ目的トスル犯罪ト、各別條ニ規定スルト共ニ、國體變革ニ關スル犯罪ニ付テハ、禁錮刑ヲ廢シテ徵役刑ノミト致シ、且ツ刑ノ短期ヲ高メタコト、二、國體變革ヲ目的トセル結社ノ支援結社、即チ所謂外廓團體ニ關スル處罰規定ヲ新タニ設ケタコト、三、國體變革ヲ目的トセル結社ノ組織ヲ準備スルコトヲ目的トセル、所謂準備結社ニ關スル處罰規定ヲ新タニ設ケタコト、四、國體變革ヲ目的トシ、又ハ其ノ目

的ヲ以テ組織セラレタ結社ヲ、支援又ハ準備スルコトヲ目的トセル集團ニ關スル處罰規定ヲ新タニ設ケタコト、五、結社又ハ集團ニ關係ナキ個人ノ行爲ニ付キ、宣傳其ノ國體變革ノ目的遂行ニ資スル行爲ヲ取締ル爲メ包括的規定ヲ設ケタコト、六、類似宗教團體等ニ關スル處罰規定ヲ新タニ設ケタコト等デアリマス

而シテ刑事手續ニ關シテハ、普通ノ刑事訴訟法ニ對スル特則ト致シマシテ、一、檢事ニ對シ相當廣汎ナル強制搜査權ヲ附與シ、二、辯護士指定制度ヲ新設シ、三、裁判管轄移轉ノ請求ヲナシ得ル場合ヲ擴張シ、四、第一審ノ判決ニ對シ控訴ヲ許サザルコト等ヲ規定致シテ居ルノデアリマス、更ニ所謂非轉向ノ思想犯人ヲ社會ヨリ隔離シ、且ツ其ノ改悛ヲ促スコトヲ目的トル豫防拘禁制度ヲ新設シタ點ニアルノデアリマス

本委員會ニ於キマシテハ、本案ノ内容ハ勿論、廣ク各般ノ事項ニ付キ、熱心ナル討議ガ行ハレタノデアリマス、改正ノ必要性及ビ原案ノ内容ニ關シテハ、委員間ニ殆ど異論ヲ見ナカツタノデアリマスガ、最近ノノデアリマス、其ノ詳細ニ關シテハ速記錄デ御覽ヲ願フコトニ致シマシテ、此處ニハ其ノ中特ニ重要ナル應答ヲ御紹介スルニ止メタイト存ジマス

先づ第一ニ、對「ソ」國交調整問題ト、共產主義運動取締ノ方針ニ關スル質問デアリマシタ、日「ソ」ノ國交調整ニ惡影響アルヲ慮リ、共產主義運動取締ニ關スル當局ノ方針ガ緩和セラルニアラズヤト、危惧ノ念ヲ抱ク者アルニ鑑ミマシテ、此ノ際政府ハ其ノ取締方針ヲ闡明シテ、斯カル危惧ヲ一掃スベシト云フ委員ノ意見ニ應ジマシテ、政府ハ從來ノ方針ニ何等變更ヲ加フル意思ヲ有セズ、苟クモ治安維持法ニ抵觸スル思想ニ對シテハ、斷乎タル處置ニ出ヅル方針ヲ堅持スルモノナルコトヲ、力強ク言明致サレタノデアリマス

二ニハ、憲法ノ解釋問題ニ關シ、委員ヨリ最近ニ於ケル言論界ノ風潮トシテ、動モスレバ我ガ憲法ノ條章ヲ歪曲セントスル傾向ガアルヤニ見受ケラレ、殊ニ學者中ニハ、憲法ノ發展的解釋論ヲ唱ヘ、時流ニ阿譾スルノ說ヲナス者アルハ、寒心ニ堪ヘナイ所デアルガ、之ニ對スル政府ノ所信如何ト質シマシタルニ對シ、政府ノ憲法ヲ歪曲シテ自說ヲ主張スルガ如キハ斷ジテ許容セズ、若シ左様ナ言論ヲナシ、學說ヲ唱フル者ノ意圖スル所ガ、我ガ國體ヲ變革シ、又ハ私有財產制度否認ノ目的ヲ達スル手段トシテ行ハルモノナルヲ以テ、取締上支障ナカルベシト應答セラレ、委員モ大體政府ノ意見ニ賛同致サレタノデアリマス

次ニ問題トナリマシタノハ、私有財產制度ノ否認ノ意義如何、產業奉還、土地國有度ノ否認ノ意義如何、產業奉還、土地國有度ノ否認スルガ如キハ多クノ場合國體變革セントスルガ如キハ多クノ場合國體變革、又ハ私有財產制度否認ノ目的ヲ達スル手段トシテ行ハルモノナルヲ以テ、取締上支障ナカルベシト應答セラレ、委員モ大體政府ノ意見ニ賛同致サレタノデアリマス

次ニ問題トナリマシタノハ、私有財產制度否認スルニ存スル場合ニ於テハ、本法ニ依リ嚴重取締ルベキコトヲ表明致サレタノデアリマス

次ニ委員猪野毛利榮君ヨリ 天皇機關說ハ、我ガ尊キ國體ノ本義ニ反スルコトノ明コト、換言スレバ、該制度ヲ根本的ニ變更スル

内務、文部各大臣、及び陸軍當局ヨリ、天皇機關說ガ我ガ國體ノ本義ニ反スルモノデアル、抑々私有財產制度トハ、私人ガ財物ニ對シテ有スル所有權ヲ基礎トシ、所有權ノ有スル機能ヲ發揮セシムベク、法ノ保護シ且ツ規律スル所ノ制度デアツテ、國民生活ノ基礎ヲ成ス一ノ制度デアル、而シテ之ヲ思想的ニ申シマスナラバ、歷史的、國民的ニ拔クベカラザル信念ノ存スル、國民共存共榮ノ律則ヲ包含スルモノト解スベキデアル、隨テ私有財產制度ノ否認ハ、我ガ國家ノ組織ニ動搖ヲ及ボシ、我ガ國體ヲ變革ニ對シ、第五十回帝國議會ニ提出セラレタル治安維持法案ニハ、國體變革ト並ベテ、政體變革ヲ處罰スル旨ノ規定ヲ設ケタノデアルガ、當時議會ハ、政體ナル用語ノ意義ガ不明確ナリトシテ、之ヲ削除シタルニ依リ、議會ノ意思ヲ尊重スル意味ニ於テ、其ノ處罰規定ヲ設ケザリシモノニシテ、政體ヲ變革セントスルガ如キハ多クノ場合國體變革、又ハ私有財產制度否認スルニ存スル場合ニ於テ之ヲ否認スル思想ヲ處罰スル所為アルカラ、憲法ハ之ヲ保護シテ居リ、本案ニ於テ之ヲ否認スル思想ヲ處罰スル所以モ、亦茲ニ存スルト申サレタノデアリマス（拍手）

次ニ産業奉還論、土地國有論ト言ツテモ、其ノ内容必ズシモ明確デハナイガ、若シ凡ユル資本ノ私有ヲ禁ゼントスル政治上ノ主張ノ下ニ、產業奉還又ハ土地國有ヲ主張スル場合ニ於テハ、私有財產制度ノ否認ニ該當スル、但シ土地ハ最も重要な生産資本アルカラ、其ノ公有ヲ主張スル場合ハ、凡ユル財貨ノ私有ヲ禁ズル主張カラ出發スル場合ガ多カラウト考ヘルト云フノデアリマス

次ニ本案ニハ憲法中直接國體ニ關セザル條章否認ニ關スル規定ナキカ如何トノ問ニ對シ、政府當局ハ憲法ノ條章否認ニ關スル

行爲ニ付テハ、他ニ刑法、新聞紙、出版等ニテ關スル法規、治安警察ニ關スル法規ニ依ツテ處斷セラルルノデアリマス、併シ若シ其ノ範圍ヲ逸脱シテ、國體ノ變革、又ハ私有財產制度否認ノ域ニ觸レテ來レバ、直ニ本法ニ依ツテ處斷スルノデアリマス、要スルニ本法及ビ他ノ法規ニ依リ、治安維持ノ完璧ヲ期シタイト思ツテ居リマストノ趣旨ヲ御答ヘニナリマシタ

次ニ本委員會ニ於テ、大政翼賛會乃至其構成員ノ思想的性格等ニ關シ、最モ活潑ナル質疑方行ハレ、之ニ關聯シテ教學刷新ノ急務ガ具體的ニ主張セラレタコトデアリマス、其ノ質疑ノ内容ハ極メテ多岐ニ亘リマスノデ、之ヲ省略致シマスガ、之ニ對シ政府ハ、翼賛會ニ對スル疑惑ハ至急之ヲニ努力シタイ、教學刷新ニ關シテハ、具體的ニ調査中デルト應答セラレタノデアリマス

斯クシテ質疑終了セントスルニ當リ、委員泉國三郎君ヨリ、是ニテ質疑打切ノ動議出デ、更ニ同委員ヨリ討論ヲ省略シテ採決アランコトノ動議ガアリマシタ、何レモ別ニ異議ナク成立シマシタ、仍テ直チニ採決ニ入り、委員長ハ本法案成立ニ賛成ノ委員ノ起立ヲ求メマシタ、起立總員、全會一致ヲ以テ本案ハ可決セラレタノデアリマス

以上本案委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告ミマス

申上ゲマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○議長(小山松壽君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——國民貯蓄組合法案、國民再生金庫法案、日本勸業銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、右五案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長菊池良一君

普通刑事訴訟法ニ對スル特法トシテ、檢事ニテ廣汎ナル權限ヲ附與シテ居リマスカラ、檢事ガ之ヲ行フニ當リ、職權濫用等ノ弊ニ陥ラザルヤウ、嚴肅ノ態度ヲ以テ臨マレンコトヲ要望致シマシタ、之ニ對シ政府ハ、本法ハ重要ナル法案デアリマスカラ、實施ノ上ハ慎重ニ、且ツ嚴肅ナル態度ヲ以テ、又檢事ニ於テモ職務執行ニ際シ、他ヨリ非難ナキヤウ十分注意シテ行フヤウニ致シタ

○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマセ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

○議長(小山松壽君) 第二讀會(確定議)提出、第一讀會ノ續(委員長報告)北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)農工銀行法中改正法律案(政府提出)

○議長(小山松壽君) 第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

○議長(小山松壽君) 第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)國民貯蓄組合法案(政府提出)

○議長(小山松壽君) 第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)國民再生金庫法案(政府提出)

○議長(小山松壽君) 第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

○議長(小山松壽君) 第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)國民貯蓄組合法案(政府提出)

○議長(小山松壽君) 第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

○議長(小山松壽君) 第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)農工銀行法中改正法律案(政府提出)

○議長(小山松壽君) 第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)右五案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長菊池良一君

報告書

一日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

右八本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

右八本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十六年二月十九日

委員長 菊池 良一

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一北海道拓殖銀行法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十六年二月十九日

委員長 菊池 良一

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一農工銀行法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十六年二月十九日

委員長 菊池 良一

衆議院議長小山松壽殿

〔菊池良一君登壇〕

○菊池良一君 只今議題トナリマシタ國民

貯蓄組合法案、國民更生金庫法案、日本勸業銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法

中改正法律案及ビ農工銀行法中改正法律案ノ五法律案ニ付キマシテ、之ヲ一括シテ委員會ニ於ケル経過並ニ結果ヲ御報告致シマス

委員會ハ二月十四日開會、委員長並ニ理事ノ互選ヲ行ヒマシタ、爾來前後五日間ニ瓦リマシテ、各法律案ニ付キ慎重審議ヲ重

ネタノデアリマスガ、此ノ間委員諸君ト關係各省ノ政府委員トノ間ニ、色々ノ觀點力ラ、各般ノ問題ニ亘リ、非常ニ熱心ナル質疑應答ガ交ハサレタノデアリマス、而シテ委員諸君ノ質問ハ、何レモ甚ダ適切ニシテ且ツ有益ナルモノデアリマシタ、茲ニ逐一御報告致シタインデアリマスルガ、時間ノ關係上之ヲ割愛セザルヲ得ナイノハ洵ニ遺憾デアリマス、隨テ詳細ノ點ハ速記錄ニ依リ御承知ヲ願ヒマス、此處ニハ各法律案ニ付キマシテ、其ノ内容ノ概略並ニ主要ナル質疑應答ヲ紹介スルニ止メタイト存ジマス先づ國民貯蓄組合法案ニ付テ御報告致シマス、政府ヨリ國民貯蓄組合法案提案ノ理由ニ付テ詳細ナル説明ガアリマシタ、即チ政府ニ於キマシテハ、近時内外情勢ノ推移ニ伴ヒマシテ、貯蓄獎勵徹底ノ要益、緊切ノ度ヲ加ヘテ參リマシタノデ、此ノ際國民貯蓄組合ノ整備擴充ヲ圖リ、之ヲシテ貯蓄獎勵運動ノ核心タラシメントスル趣旨ヲ以テ、本法案ヲ提出シタト謂フノデアリマス、而シテ本法案ノ骨子トスル所ハ、國民貯蓄組合ノ機構、指導監督及ビ助成ノ三ツデアリマス、先づ組合ノ機構ニ關シマシテハ、現在存スマ組合ノ實績ニ即シ單ニ、其ノ形態ヲ整備スルニ止メ、次ニ組合ノ指導監督ニ付キマシテハ、組合ノ斡旋スル貯蓄ノ種類ヲ限定シ、又組合ノ成立解散等ノ場合ニ届出義務ヲ課シ、其ノ他報告ノ徵取等、監督上必要ナル措置ヲ講ズルコトトシ、又組合ノ助成

ニ關シマシテハ、第一ニ組合ノ斡旋ニ係ル一定ノ貯蓄ニ付キ、甲種ノ配當利子所得ニモノニ限り、複利貯金及ビ据置貯金ノ受入報告致シタインデアリマスル、第二ニ貯蓄モニ限リ、複利貯金及ビ据置貯金ノ受入ノ認メル、第三ニ國民貯蓄組合ニ補助金又ハ獎勵金ヲ交付シ得ル途ヲ開イタト云フノモニ限リ、複利貯金及ビ据置貯金ノ受入ニアリマス、之ニ對シマシテ委員諸君ヨリ質問ガアリマシタ、其ノ質問ノ要旨ニ付テ御承知ヲ願ヒマス、此處ニハ各法律案ニ付

二、三御紹介申上ゲマス

第一ハ、組合ノ斡旋シタ貯蓄ハ、引出ニ制限ヲ受ケルフデハナイカト云フ點デアリマシタガ、之ニ對シテハ、現在多クノ組合ニ付テ、組合規約ヲ以テ、概ね已ムヲ得ニ於テハ、組合規約ヲ以テ、概ね已ムヲ得ガル場合ノ外ハ、一定期間引出サナイト云フ申合セノ下ニ貯蓄ヲ行ツテ居ル狀況デアリマシタ

二、本法案施行後ニ於テモ、此ノ點ニ付テハ、從來通り組合ノ自律ニ委ネルノデアルガ、免稅ノ場合ニハ、一定期間引出サナイトヲ、明カニシタモノデアルト云フ答辯ガアリマシタ

第三次ニ國民更生金庫法案ニ付テ御報告致シ

マス、國民更生金庫法案ハ、最近ニ於ケルリマシタ、第一ニ、本法案ハ組合代表者ニ屆出義務、報告義務等ヲ課シテ居ルガ、種々煩瑣ナル手續ヲナサシムルコトハ、却テ組合ノ發達ヲ障碍スル虞ガナイカト云フ點デアリマシテ、之ニ對シテハ此ノ種ノ届出、

ノデアリマシテ、本金庫ハ轉廢業者ノ爲ニ、生金庫ト云フ特別法人ヲ設立セントスルモノデアリマシテ、本金庫ハ轉廢業者ノ爲ニ、資產ノ管理處分ノ引受、又ハ之ヲ擔保トス

マス、現下ノ經濟情勢ニ顧ミマシテ、轉廢

業問題ハ甚ダ重要ナルモノト認メラレマスモノデアルガ、本法案ノ適用ニ當ツテハ、業問題ハ甚ダ重要ナルモノト認メラレマスルノデ、委員諸君モ終始熱意ヲ以テ質疑ヲ依リ規定セラレタモノカト云フ點デアリマシ、組合ノ組織ヲ勸奨シ來ツタ所、大體良好ノ成績ヲ收メ、既ニ全國相當ノ廣範圍ニ亘り、組合ノ結成ヲ見ルニ至リ、今日組織ニアリマス、之ニ對シマシテ委員諸君ヨリ質問ガアリマシタ、其ノ質問ノ要旨ニ付テ御承知ヲ願ヒマス、此處ニハ各法律案ニ付

シタ譯デナク、又今後ニ於テモ同様愛國運動トシテ勸奨ニ依リ、組合ノ結成ヲ促進シテ行ク方針デアルガ、今日ニ於テ稀ニ結成ヲ見ザル向キニ對シテハ、國家ハ單ニ道義的ノミナラズ、法律的ニモ組合ノ結成ヲ通じテ國策ニ協力スベキ旨ヲ要請シテ居ルコトヲ、明カニシタモノデアルト云フ答辯ガアリマシタ

四、本法案ハ組合ノ斡旋ヲ行ヒ、舊業務用資本ノ融通等ノ業務ヲ行ヒ、舊業務用資本ノ有利ニ換價スルコトニ依リ、是等ノ者ノ轉廢業ヲ容易ナラシメントスルノデアリマス、現下ノ經濟情勢ニ顧ミマシテ、轉廢業問題ハ甚ダ重要ナルモノト認メラレマスルノデ、委員諸君モ終始熱意ヲ以テ質疑ヲ

重ネラレマシタ、之ニ對シテ政府當局モ甚
ダ誠意アル答辯ヲセラレタノデアリマシテ、
今其ノ主要ナルモノヲ若干申上げテ見タイ
ト思ヒマス、第一ニ、國民更生金庫ノ業務
上ノ損失ニ對スル政府ノ補償金總額ハ、豫
算外契約ニ依レバ六千五百万圓デアルガ、
本金庫ヲシテ十分ナル活動ヲナサシメル爲
ニ、右程度ノ損失豫定額デ足リル見込デアル
カトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテ政
府當局ヨリハ、本金庫ガ業務上蒙ルベキ損
失額ハ、今後ニ於ケル物資需給關係ノ如何
ニ依リ影響セラルモノデ、今日的確ナル
見積リヲナスコトハ困難デアルケレドモ、
差當リ六千五百万圓程度ノ金額ヲ豫定スレ
バ、當面昭和十六年度ノ事業ノ遂行上支障
ヲ生ズルコトハナイ見込デアル、併シ右ノ
金額ヲ以テ不足スル時ハ、勿論之ヲ増額シ
タイト考ヘテ居ル旨ヲ答辯サレマシタ、第
二ニ國民更生金庫ハ、其ノ業務ノ内容ヨリ
見テ、是ガ監督ハ商工省專管トセズ、大藏
省、商工省等ノ關係各省ノ共管トスベキモ
ノデハナイカトノ質問ガアリマシタ、之ニ
對シマシテハ政府當局ヨリ、本金庫ハ各種
轉廢業ノ事態ニ即應シテ、特ニ敏速ナル活
動ヲナサシムル必要ガアルノデ、之ヲ大藏
省管トシタガ、業務ノ内容ハ商工省トモ
關係ガ深イノデ、關係各省ト十分ノ密接ナ
ル關係ヲ保ツベキコトハ當然デアルト考ヘ
ル、斯ウ云フ答辯ヲサレマシタ、第三ニ國
民更生金庫ハ、轉廢業者ノ資產トシテ、有體

動産、不動産等ノ外ニ、營業權ノ存在ヲモ
認メルコトガ望マシイト思フガ、政府ノ方
針ハ如何デアルカト質問致シマシタ所ガ、
之ニ對シテ政府當局ヨリハ、國民更生金庫
之ニ對シテ政府當局ヨリハ、國民更生金庫
が資產ノ處分ヲ引受クル場合ノ評價ハ、一
應營業ヲ繼續スルモノトシテ妥當ナル價額
ニ依ルノデアツテ、實際ノ處分價額以上ト
ナルノガ普通デアルカラ、營業權のモノ
ガ加味サレルコトトナルモノト考ヘラレル、
斯ウ云フ答辯ヲサレマシタ、第四ニ轉廢業
者中ニハ資產ノ全ク無イ者モ少クナイト思
ハレルガ、國民更生金庫ハ斯カル無資產ノ
者ヲ救濟シナインカト云フ質問ニ對シマシ
テ、政府當局ハ、國民更生金庫ハ、轉廢業
ノ結果不用トナツタ舊業務用ノ資產ヲ有利
ニ換價スルコトヲ目的トスル施設デアル、
併シナガラ苟クモ轉廢業ト言フ以上ハ、若
干ノ動產ナリ何ナリ、多少ノ資產ヲ有スル
モノト考ヘラレル、尙ホ轉廢業ニ對スル施
設トシテハ、本金庫ノミナラズ、他ニ色々
ノ機關ナリ施設ナリガアルカラ、ソレ等ノ
機關乃至ハ施設ヲ利用スルコトモ出來ルコ
ト、第四ニハ有價證券投資ノ範圍ヲ擴張ス
ト、第五ニハ賣出債券ニ關スル登記手
續ノ簡易化ヲ圖ルコト等ノ諸點デアリマス、
而シテ是等不動產銀行ノ今日ノ時局下ニ於
テ擔當スベキ任務ハ、甚ダ重要ナルモノト
認メラレマスノデ、委員會ニ於キマシテモ、
委員諸君及び政府當局、何レモ熱心ニ質疑
一括シテ議題トナシ、討論ニ入りマシタ所、
委員伊東岩男君ヨリ賛成ノ意見ヲ述べラレ
採決ノ結果、滿場一致ヲ以テ五案トモ原案
通り可決致シマシタ、以上簡單ナガラ御報
告申上げマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 五案ノ第二讀會ヲ開
クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 五案ノ第二讀會ヲ開
クニ御異議ナシト認メマ
ス、仍テ五案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
勸業銀行等ノ貸付利率ハ、尙ホ相當高率ニ
居リ、現ニ昭和十六年上期分認可最高利率
ニ於テモ、一分ノ引下ヲ實行政シ居ル旨ノ
道拓殖銀行法中改正法律案及ビ農工銀行法
中改正法律案ニ付テ御報告致シマス、此
ノ三法律案ハ何レモ日本勸業銀行、北海
道拓殖銀行又ハ農工銀行ノ業務ニ對スル法
律上ノ制限ガ、是等銀行ノ現狀並ニ現下
ノ一般經濟情勢カラ考ヘマシテ、相當ニ
道拓殖銀行又ハ農工銀行ノ業務ニ對スル法
律上ノ制限ガ、是等銀行ノ現狀並ニ現下
ノデアリマス、改正ノ主ナル點ハ、第一ニ
ノデアリト認メラレマスルガ、尙ホ今後ト
シタガ、之ニ對シ政府當局ヨリ、是等不動產
銀行ノ鑑定ニ付テハ、特ニ最近數年來種々
ヲ改善スル必要ハナイカトノ質問ガアリマ
シタガ、之ニ對シ政府當局ヨリ、是等不動產
銀行ノ鑑定ニ付テハ、特ニ最近數年來種々
ノ方法ヲ講ジテ、極力其ノ改善方ニ付キ指
導シテ居リ、最近ニ於テハ改善ノ跡著シキ
モノアリト認メラレマスルガ、尙ホ今後ト
モ十分監督指揮致シタイト思フ旨ノ答辯ガ
アリマシタ

斯クシテ二月十九日ノ委員會ニ於キマシ
テ質疑ヲ終了致シマシテ、直チニ右五案ヲ
一括シテ議題トナシ、討論ニ入りマシタ所、
委員伊東岩男君ヨリ賛成ノ意見ヲ述べラレ
採決ノ結果、滿場一致ヲ以テ五案トモ原案
通り可決致シマシタ、以上簡單ナガラ御報
告申上げマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 五案ノ第二讀會ヲ開
クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 五案ノ第二讀會ヲ開
クニ御異議ナシト認メマ
ス、仍テ五案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
勸業銀行等ノ貸付利率ハ、尙ホ相當高率ニ
居リ、現ニ昭和十六年上期分認可最高利率
ニ於テモ、一分ノ引下ヲ實行政シ居ル旨ノ
道拓殖銀行法中改正法律案及ビ農工銀行法
中改正法律案ニ付テ御報告致シマス、此
ノ三法律案ハ何レモ日本勸業銀行、北海
道拓殖銀行又ハ農工銀行ノ業務ニ對スル法
律上ノ制限ガ、是等銀行ノ現狀並ニ現下
ノ一般經濟情勢カラ考ヘマシテ、相當ニ
道拓殖銀行又ハ農工銀行ノ業務ニ對スル法
律上ノ制限ガ、是等銀行ノ現狀並ニ現下
ノデアリマス、改正ノ主ナル點ハ、第一ニ
ノデアリト認メラレマスルガ、尙ホ今後ト
シタガ、之ニ對シ政府當局ヨリ、是等不動產
銀行ノ鑑定ニ付テハ、特ニ最近數年來種々
ヲ改善スル必要ハナイカトノ質問ガアリマ
シタガ、之ニ對シ政府當局ヨリ、是等不動產
銀行ノ鑑定ニ付テハ、特ニ最近數年來種々
ノ方法ヲ講ジテ、極力其ノ改善方ニ付キ指
導シテ居リ、最近ニ於テハ改善ノ跡著シキ
モノアリト認メラレマスルガ、尙ホ今後ト
モ十分監督指揮致シタイト思フ旨ノ答辯ガ
アリマシタ

○服部崎市君 直チニ五案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレントヲ望ミマス。

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ五案ノ第一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス。

國民貯蓄組合法案 第一讀會(確定議) 第二讀會(確定議) 第二讀會(確定議)

北海道拓殖銀行法中改正法律案 第一讀會(確定議) 第二讀會(確定議) 第二讀會(確定議)

農工銀行法中改正法律案 第一讀會(確定議) 第二讀會(確定議) 第二讀會(確定議)

○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマス、第三讀會ヲ省略シテ、五案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、委員會等ノ整理等ニ關スル法律案ヲ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレントヲ望ミマス。

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス。

○小谷節夫君 私ハ只今議題トナツテ居リマスル委員會等ノ整理等ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス。本法律案ハ内閣初メ各省ニ所屬スル委員會及ビ審查會總數八十二ノ中、廢止セラレルモノハ四十六デアリ、殘ルモノハ合併ニ依ルモノ共ニ四十バカリ、約半數トナルノデアリマス、是ハ法律ニ依ルモノノミデアリマスガ、此ノ以外勅令ニ依ルモノ、閣議ニ依ルモノ、各省ニ於ケル委員會、審査會等ヲ合算致シマスレバ、其ノ數實ニ内地ニ於テ二百七十、外地ニ於テ百五十、合計四百二十ノ驚クベキ數ニ上ツテ居ルノデアリマス、今回此ノ法令執行ト共ニ内地ノ分百九十九残ス豫定デアリマス、委員會ハ審査會、農林省關係デハ米穀統制委員會、米穀處理委員會、觀音品種審査會、商工省關係

ス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——委員會等ノ整理等ニ關スル法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長小谷節夫君

委員會等ノ整理等ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告) 報告書

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十六年二月二十日

委員長 小谷 節夫

衆議院議長小山松壽殿

○小谷節夫君登壇

斯クシテ法律ニ依ツテ設置セラレタ委員會トナサントスルモノデアリマス

斯クテ本日質問ヲ打切り、大野委員ノ討論ヲ用ヒズシテ採決スペシトノ動議ガ成立致シマシテ、採決ノ結果全會一致本案ヲ可決致シタ次第ゴザイマス、以上御報告申上ゲマス(拍手)

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(小山松壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○服部崎市君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決セラレントヲ望ミマス。

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異

業委員會、輕金屬製造事業委員會、有機合成事業委員會、不當廉賣審查委員會、統制委員會、自動車製造事業委員會、貿易審議會、統制協議會、百貨店委員會、製鐵事業

委員會、液體燃料委員會、遞信省關係ニ於テ航空機製造事業委員會、船員職業紹介委員會、航路統制委員會、造船事業委員會、航空機技術委員會、政府航空出資評價委員會、鐵道省關係ニ於テ小運送業審查委員會、厚生省デハ國立公園委員會等ヲ廢シ、尙ホ以上ノ中補償關係ニ付テノミ存續スルモノガ七ツアリマス、更ニ十七ノ委員會ノ二ツ乃至五ツヲ合併シテ、六ツノ審查會及ビ委員會トナサントスルモノデアリマス

シテ私共ノ自畫自讚アモ、我田引水デモナキモ、其ノ出發點ニ於テ、此ノ存在ヲ輕視ニ上通シテ國內ノ相刺摩擦ヲ減ズル爲ニハ、シタユトガ非常ナ失態デアツタコトハ、決

ニ對シテハ、官僚獨善ノ弊ニ陥ルコトノナキヤウ、又近時議會人ハ廉價ニ評價セラレテ居リマスガ、今日ノ如キ非常時ニ於テ、特ニ上意下達シテ國論ノ統一ニ資シ、下情ヲ

議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス。

委員會等ノ整理等ニ關スル法律案

第二讀會（確定議）

○議長（小山松壽君） 別ニ御發議モアリマス、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ（拍手）

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、郵便貯金法中改正法律案、及び船舶保護法律案ノ兩案ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君） 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——郵便貯金法中改正法律案、船舶保護法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長平川松太郎君

郵便貯金法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會ノ續（委員長報告） 船舶保護法律案（政府提出、貴族院送付）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

衆議院議長小山松壽殿 報告書
一 船舶保護法律案（政府提出、貴族院送付）
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十六年二月三十日 委員長 平川松太郎
衆議院議長小山松壽殿

昭和十六年二月三十日 委員長 平川松太郎
〔平川松太郎君登壇〕

○平川松太郎君 郵便貯金法中改正法律案
茲ニ船舶保護法律案ノ委員會ニ於ケル經過ト

茲ニ結末ヲ御報告申上げマス

先づ郵便貯金法中改正法律案ニ付テ大體提案ノ趣意ヲ述ベマス、現在郵便貯金法ノ第三條ニ規定シテアリマス所ノ、郵便貯金ノ最高制限額ガ二千圓デアリマス、之ヲ三千圓ニ引上ゲルコトト、一度ノ預入レ金額五十錢以上トアリマスノヲ、五十錢以上ニ引上ゲルコトト、此ノ二點デアルノデアリマス、政府ハ事變下財政經濟政策ノ圓満ナル運行ヲ圖ル爲メ、國民貯蓄獎勵運動ヲ進メ、長期ニ亘ツテ是ガ強化實踐ヲ期シテ居ルノデアリマスガ、郵便貯金ニ於キマシテハ、現

在最高ガ二千圓ト制限セラレテ居リマスノ

ヲ來サナイデアラウカ、斯ウ云フ質問ニ對

デ、此ノ制限額ヲ適當ニ引上ゲ、サウシテ國民貯蓄ノ增加ヲ圖ルコトハ極メテ緊要ナコトデアル、次ニ最近ニ於ケル郵便貯金ノ取扱状況ヲ見マスノニ、五十錢未滿ノ小額預入レハ總口數ガ三〇%ヲ超エテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ見マシテ、最低制限額ノ僅カニ〇、五七%ニ過ギナインデアリマス、斯ウ云フ點カラ見マシテ、最低制限額ハ五十錢トスルノガ適當デアル、是ガ大體ノ趣旨デアルノデアリマス、改正案ノ内容ハ只今申上ゲマシタ通りデアリマスガ、其ノ委員會ニ於ケル質問ニ付キマシテハ、二、三點御紹介ヲシテ置キタイト考ヘマス

第一點ハ、最高額ノ制限二千圓ヲ三千圓ニ引上ゲルノデアルガ、併シ今日ノ國民經濟ノ狀況カラ見マスレバ、モウ少し大幅ニ引上ゲテモ宜シイデハナイカ、斯ウ云フ質問ニ對シマシテ、政府ノ答辯ハ、尤モデア

ソレカラ今一點ハ、現在三等郵便局、殊ニ無集配郵便局ノ從業員ノ待遇ガ他ニ比シテ非常ニ劣悪デアル、ソコデ此ノ待遇改善

ヘル時ニハ、郵便貯金ダケヲ急ニ引上ゲマシテ、他ノ方面ニ動搖不安ヲ來スヤウナコトガアツテハ相成ラナイ、之ヲ避ケナケレバナラヌ、今一つハ、貯蓄銀行及び信用組合ノ預金ハ三千圓ヲ超エルト課稅ヲセラル

ルコトニナツテ居リマス、是等ノ關係ヲモ考慮シテ三千圓トスルノガ妥當デアルト云フ答辯デアリマシタ

次ニハ、郵便貯金最高制限ヲ引上ゲルコトニ依リマシテ、民間ノ貯蓄機關ニ惡影響有ル、此ノデアリマスガ、郵便貯金ニ於キマシテハ、現

シマシテ、政府ハ斯ウ云フ答辯ヲシテ居ルノデアリマス、郵便貯金ハ農業、學生生徒、無業等ヲ主ナル利用者ト致シテ居ルノニ反シマシテ、民間貯蓄銀行ハ商工業者ヲ主ナル利用者トシテ居ル、即チ前者ト後者トノ間ニ於キマシテハ、各預金者層ヲ異ニシテ居ル、尙ホ民間貯蓄機關ハ郵便貯金ニ比シ概シテ高イ利廻遊アルノミナラズ、今回ノ

引上ゲ限度決定ニ當リマシテ、民間貯蓄機関ノ免稅點ガ現在三千圓トナツテ居ル、斯ウ云フ點トノ權衡ヲ考慮シテ、郵便貯金モ

ウナ虞ハナイ、又既往明治三十八年度及ビ大正九年度兩度ノ制限引上ゲラ致シマシタウナ懸念ハナカツタ、斯ウ云フ答辯デアリマス

タ、獨リ此ノ名稱ヲ廢シタノミナラズ、從業員モ皆同様ナ待遇ニスルコトニシテ、集配人ノ服装ノ如キモ、全部之ヲ官給ニスル建前ニナツテ居ル、待遇改善ニ付テモ大イニ其ノ必要ヲ感ジマシテ、本年ノ豫算ニハ、十分

デハナイケレドモ、其ノ費用ヲ計上シテア質問ヲ打切リマシテ討論ニ入りマシテ、斯ウ云フ答辯ニアツタノデアリマス、小林君ノ發議ニ依リマシテ討論ヲ打切ツテ採決ニ入りマシタガ、滿場一致可決シタノデアリマス

次ニ船舶保護法案ニ付テ概ク簡單ニ説明ヲ申上ゲマス、此ノ提案理由ハ、過日ノ本會議ニ於テ海軍大臣ヨリ詳細ニ御述べニナツテ居リマスルカラ、是ハ省略致シマス、大體ドウ云フ法案デアルカト云フ骨子ヲ申上ゲルト、三點ニ歸着スルノデアリマス、

第一點ハ、戰時事變又ハ外國間ノ交戦等ノ場合ニ於キマシテ、船舶保護ノ要アル時ニ、海軍官憲ハ船舶保護上必要ナ指示ヲナシ得ルコト、第二點ハ、運輸業者又ハ船舶所有者は對シ船舶ノ設備又ハ乗組員ノ整備ニ關シ、海軍大臣ハ關係各大臣ト協議ノ上ニ、船舶保護上必要ナル指示ヲナシ得ルコト、第三點ハ、船舶保護上必要アル時ニハ、所要事項ニ關シ報告ヲ微シ、又ハ船舶其ノ他必要ナル場所ニ立入り検査ラシ得ルコト、是等ノ三點デアリマシタ、サウシテ各、罰則ヲ設ケタ次第デアリマス、是ガ法案ノ大體ノ骨子デアリマシテ、之ニ對シテ質

問應答ガアリマシタガ、其ノ中ノ二點ヲ申上ゲテ見タイノデアリマス、一點ハ、兵役キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通

法ヲ改正シテ商船乗組員ヲ海軍豫備兵ニスル考ヘハナイカト云フ質問デアリマス、之ニ對スル政府委員ノ答辯ハ、關係各省ト能

ク協議ヲシテ、サウ云フ風ニ取計ヒタイト云フコトデアリマシタ、更ニ現在ニ於ケル

南航教育ハ、遞信省ト文部省トニ分レテ居リマシテ統一シ居ナイ、實際上甚ダ不都合デアルガ、之ヲ統一スル考ヘハナイカト

云フ質問ガアリマシテ、之ニ對スル文部省ノ政府委員ノ答辯ハ、現在ニ於テハ文部省ノ管轄ニ屬シテ居ル所ノ商船教育ヲ遞信省ニ移管スル考ヘハナイ、併シ文部大臣トモ能ク協議ヲシテ、書面ヲ以テ回答ヲスルト云フ答辯ニアリマシタ、之ニ反シテ遞信大臣ノ答辯ハ、是ハ是非統一シタイト云フ希望ヲ述べラレテ居リマス、而シテ質問者ハ、何海軍大臣ガ今出席シテ居ラレナイカラ、何レ海軍大臣ヘノ質問ハアトデ書面ヲ以テ回答シテ貴ヒタイト云フ希望ヲ開陳セラレマシタ、斯様ナ質疑ガアリマシテ、質疑ヲ終了シテ、討論採決ニ入りマシタガ、討論ヲ省略シテ滿場一致可決致シマシタ、此ノ段御報告申上ダマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 兩案ノ第一讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——蠶絲業統制法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長高橋熊次郎君

○服部崎市君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

一蠶絲業統制法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十六年二月二十日
衆議院議長小山松壽殿

第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一蠶絲業統制法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十六年二月二十日
衆議院議長小山松壽殿

(小字ハ委員會修正)
蠶絲業統制法案中左ノ通修正ス
第一讀會(確定議)
第一讀會(確定議)
○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、蠶絲業統制法案ヲ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(小山松壽君) 「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——蠶絲業統制法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長高橋熊次郎君

一 蠶絲價ノ安定ヲ確保シ蠶絲業統制ヲ徹底セシムル爲政府ハ速力ナル機會ニ於テ一元的統制ヲ完成スベシ

二 農林大臣ノ指定ヲ受ケタル製絲業者ガ輸出向生絲ヲ輸出し又ハ販賣セントスルトキハ日本蠶絲統制株式會社ヲ通シ

○議長(小山松壽君) 兩案ノ第一讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
○議長(小山松壽君) 「異議ナシ」ト呼ブ者アリ
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ノ第一讀會ヲ開クニ決シマシタ

○議長(小山松壽君) 諸君ノ御意見ヲ聽取リ、本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十六年二月二十日
衆議院議長小山松壽殿

主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

三 前項ノ製絲業者ガ輸出向生絲ヲ輸出シ又ハ販賣シタルトキハ一定基準ヲ定メソノ販賣價格トノ差額ヲ

日本蠶絲統制株式會社ニ納付セシムベシ

四 日本蠶絲統制株式會社ノ組織ニ際シテハ政府ハソノ官僚化ヲ嚴ニ戒メ事業運營ニ關シ素リニ拘束ヲ加フルコトナク敏速機宜ノ措置ヲ講ジ得ル如クスペシ

五 本法ノ施行ニ際シテハ乾蘿倉庫、蘿市場ヲ買收又ハ利用スルト共ニ蘿絲業者、蠶種販賣業者及其ノ團體ヲ活用シ以テ失業ノ防止ニ留意スベシ

六 養蠶ノ違作ニ對シ之レガ救濟策トシテ保險事業其他適當ナル施策ヲ講ズベシ

第一ニ蠶種、蘿及ビ生絲等ノ蠶絲類ニ對スル生產計畫ノ設定デアリマス、即チ今後事態ニ即シタル一定ノ用途別生產計畫ノ下ニ、生產割當制ヲ實施シ、蠶絲類ノ計畫生産ヲナスコトデアリマス。第二ニハ日本蠶絲統制株式會社ノ設立デアリマシテ、之ニ依リ原則トシテ蠶種、蘿及ビ生絲ノ一手買入及ビ賣渡ヲ行ハシメ、以テ消費計畫ニ即シタ供給ヲ確保セントスルノデアリマス。

第三ハ蠶絲類ノ價格デアリマスガ、從來輸出生絲ノ市價ノ騰落ニ依リ、其ノ相場ノ變動常ナキ狀態デアリマシタガ、今後ハ日本蠶絲統制株式會社ノ行フ配給ノ管理等ニ依リマシテ、一定價格ニ依ル取引ヲ行ハシメントスルノデアリマス。

第四ハ蠶絲類ノ検査デアリマスガ、從來ノ検査制度ヲ擴充シ、原則トシテ蘿及ビ生絲ノ總テノ取引ヲ檢定又ハ検査ニ依ラシメントスルノデアリマス。

○高橋熊次郎君
高橋熊次郎君只今議題トナリマシタ蠶絲業統制案ニ關シ、委員會ニ於ケル經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス

本案ハ我國蠶絲業ノ統制ニ關スル劃期的立法デアリマシテ、一面ニハ最近ニ於ケル國際情勢ノ緊迫ニ對應シ、他面ニハ國內ニ於ケル纖維ノ需給狀況ニ照シ、從來輸出其ノ重點ヲ國內纖維ノ補給ニ置カシメ、生産、配給、消費ノ全般ヲ通じて計畫化ヲ圖リ、以テ如何ナル事態ニ立至リマシテモ聊

カモ動ゼズ、永遠ニ安固ナル基礎ノ上ニ、

其ノ安定及ビ發達ヲ圖ルノ態勢ヲ整ヘシメントスルモノデアリマシテ、其ノ主タル内

容ハ

第一ニ蠶種、蘿及ビ生絲等ノ蠶絲類ニ對

ニ、生產割當制ヲ實施シ、蠶絲類ノ計畫生

產ヲナスコトデアリマス。

第三ハ蠶絲委員會ノ設置デアリマス

及ビ生絲ノ一手買入及ビ賣渡ヲ行ハシメ、以テ消費計畫ニ即シタ供給ヲ確保セントス

ル賣渡ヲナシ得ルコト致シテ居ルノデア

リマスガ、是ガ爲メ必要ナル資金並ニ當面

ノ絲價維持對策ニ要スペキ資金ヲ考慮シ、

絲價安定施設特別會計法ノ資金七千万圓ヲ

二億五千万圓ニ増額セントスルノデアリマ

スルモノデアリマス。

第七ハ蠶絲委員會ノ設置デアリマシテ、

政府方蠶絲類ノ生產計畫、價格等蠶絲業統

制ニ關スル重要事項ヲ定メマスニ付キマシ

テ、蠶絲委員會ヲ設置シ、之ニ諮詢ヲ致サ

ントスルノデアリマス、本案ノ主タル內容

ハ以上ノ如クデアリマスガ、本委員會ニ於

キマシテハ、本案ノ重要性ニ鑑ミ、去ル十

二日以來九日間ニ亘り各委員ニ於テ熱心且

ツ精細大ル質疑ヲ重ネテ來タノデアリマス

各委員ノ質疑ノ行ハレマシタコトヲ要約シ

テ申上ゲマスルト、大體次ノ二ツノ問題ト

ナルノデアリマス、其ノ一つハ輸出生絲ノ

統制ニ關スル問題デアリマシタ、輸出生絲ニ付キマシテハ、政府ハ需給ノ情勢ニ應ジ

マシテ、一定ノ製絲業者ニ對シ生產ノ割當

ヲスルノデアリマスルガ、其ノ販賣ハ從來

ノ方法ニ依ラシメルノガ、現在ノ事態ニ於

スルモノデアリマス

第六ハ絲價安定施設特別會計ノ資金ノ擴充デアリマシテ、政府ハ絲價安定ニ對スル措置ノ萬全ヲ期スル爲メ、統制會社ヲシテ

最低價格ニ依ル輸出向生絲ノ買入ヲ行ハシメ、是ガ補強策トシテ一定ノ場合、政府ハ統制會社ヨリノ生絲ノ買入又ハ會社ニ對スル賣渡ヲナシ得ルコト致シテ居ルノデア

リマスガ、是ガ爲メ必要ナル資金並ニ當面

ノ絲價維持對策ニ要スペキ資金ヲ考慮シ、

絲價安定施設特別會計法ノ資金七千万圓ヲ

二億五千万圓ニ増額セントスルノデアリマ

スルモノデアリマス。

第七ハ蠶絲委員會ノ設置デアリマシテ、

政府方蠶絲類ノ生產計畫、價格等蠶絲業統

制ニ關スル重要事項ヲ定メマスニ付キマシ

テ、蠶絲委員會ヲ設置シ、之ニ諮詢ヲ致サ

ントスルノデアリマス、本案ノ主タル內容

ハ以上ノ如クデアリマスガ、本委員會ニ於

キマシテハ、本案ノ重要性ニ鑑ミ、去ル十

二日以來九日間ニ亘り各委員ニ於テ熱心且

ツ精細大ル質疑ヲ重ネテ來タノデアリマス

各委員ノ質疑ノ行ハレマシタコトヲ要約シ

テ申上ゲマスルト、大體次ノ二ツノ問題ト

ナルノデアリマス、其ノ一つハ輸出生絲ノ

統制ニ關スル問題デアリマシタ、輸出生絲ニ付キマシテハ、政府ハ需給ノ情勢ニ應ジ

マシテ、一定ノ製絲業者ニ對シ生產ノ割當

ヲスルノデアリマスルガ、其ノ販賣ハ從來

ノ方法ニ依ラシメルノガ、現在ノ事態ニ於

テ、外貨獲得ノ上ニ於テ得策デアルト云フ

意向デアリマスガ、之ニ對シマシテ其ノ一

點ハ、ソレデハ完全ナル蠶絲ノ統制ハ期セ

テレナイ、折角多年ノ要望デアル所ノ統制

法案が出来ルノデアルカラ、輸出生絲ヲ除

外シテハ畫龍點睛ヲ缺クノ憾ミガアル、斯

ウ云フノデアリマス、其ノ二點ハ、輸出生

關係者ノ要望ニモ副ハズ、輸出ノ仲張モ期

セラレナインデアル、斯ウ云フノデアリマ

ス、其ノ三點ハ、養蠶、製絲、機業、輸出

等ヲ通ジ、全般的ニ蠶絲業ハ危險ナル產業、

投機的產業トセラレマシテ、業者ノ經濟ヲ

不安ニ置キ、國民經濟ニ禍ヒシタノデアリ

マンタガ、依然トシテ投機性ヲ拂拭スルコ

トガ出來ナインデアル、斯ウ云フコトデア

リマス、其ノ四點ハ、支那生絲ニ付キ、日

支共存共榮ノ立場カラ今後經濟ヲ強化スル

要ガアルガ、之ニ付テハ日本ニ於テモ一元

的統制ヲ行フノデナケレバ、日支蠶絲業ノ

圓滑ナル調整ハ期セラレナインデハナイ

カ、斯ウ云フコトデアリマス、其ノ五點

テ申上ゲマスルト、大體次ノ二ツノ問題ト

ナルノデアリマス、其ノ一つハ輸出生絲ノ

統制ニ關スル問題デアリマシタ、輸出生絲ニ付キマシテハ、政府ハ需給ノ情勢ニ應ジ

マシテ、一定ノ製絲業者ニ對シ生產ノ割當

ヲスルノデアリマスルガ、其ノ販賣ハ從來

ノ方法ニ依ラシメルノガ、現在ノ事態ニ於

或ル統制會社、或ハ輸出業者等ニ販賣スルコトガ出來ル上ニ、又直輸出モ出來ル、清算取引所ニ於テ賣繫ギモスルコトガ出來ル、斯ウ云フコトデハ、國內生絲ヲ製造スル製絲家ト、輸出生絲ヲ製造スル製絲家ト、兩者ノ間ニ甚ダシキ不公平ガアルノデハナイカト云フノガ其ノ六點デアリマス。其ノ七點トシテハ、輸出生絲ヲ自由ニシテ置クコトハ、此ノ蠶絲業統制ヲ遂ニ破綻ニ導クノ虞ガアリ、ソレガ全國養蠶家ニ多大ノ不利益ヲ蒙ラシムルノ懸念ガアルト云フノデアリテス、大體以上ノヤウナ意見ガゴザイマシタ、之ニ對シテ政府ノ御説明次ノ通りデアリマシタ、第一、輸出生絲ニ付テモ國用絲ニ於ケルガ如ク一元的ニ會社ニ於テ一手買取ヲスルコトハ、理想トシテハ決シテ異論ガアル譯デハナイガ、唯現在ノ状勢ニ於テ之ヲ行フコトニハ種々ノ懸念ガアル、即チ絲價ノ低下、絲格ノ偏倚ヲ來ス虞ガアル、又生絲ノ荷溜リヲ生ズル懸念モアル、斯ウ云フノデアリマス、第二ニハ、生絲輸出ノ爲ニ絲價ノ安定ヲ圖ラネバナラスコトハ勿論デアルガ、ソレニ付テハ生絲ノ生産數量ノ割當ニ依ツテ、絲量調節ノ方面カラ絲價維持ヲ圖ルト共ニ、制高制低ノ値幅ヲ縮張ニ依リ、其ノ目的ヲ達成シ得ラレマス、隨テ輸出製絲家ノ經營モ安定スルノデアル、マセルコト致シ、更ニ統制會社自體ノ買入、賣渡、及ビ絲價安定施設特別會計ノ擴張ウ云フノデアリマス、第三ハ蘭價ニ付キマシテモ、常ニ生產費ヲ基準トシテ買上ヲ

スルノデアツテ、輸出生絲ニ付テハ絲價ノ安定ヲ確保シマスルガ故ニ、蘭價ノ安定モ之ヲ確保スルコトガ出來ルト云フノデアリマス、第四トシテ支那生絲トノ間ニ調整ヲ圖ルコトハ勿論デアルガ、現在ノ所是非日本ニ於テ一元統制ヲナサネバナラスト云フ段階ニハ到達シテ居ラナイノデアリマス、第五トシテ國用ニ重點ヲ置クト言ツテモ、現在ニ於テハ、平戰兩様ノ構ヘトシテ、外貨獲得ノ使命達成ヲモ同時ニ考慮セネバナルニカラ、一定價格デ押通スコトハ不適當デアル、要スルニ以上ノヤウナ考ヘカラ、輸出生絲ニ付テハ現在ニ於テハ統制會社ノ一手買入トセズ、其ノ一部ヲ製絲業者ノ直輸及ビ自由取引ヲ行ハシムルコトトシ、多少ノ可動性アル安定值ニ於テ統制シテ行クコトガ、外貨ノ獲得上宜シイノデアルト云フコトデアツタノデアリマス。

次ノ問題ハ蘭絲商、蘭市場、蠶種賣買業者等ノ處置ニ關スル問題デアリマス、是等ノ所謂中間取扱業者ハ、本制度實施ノ結果失業スル虞ガアルノデアルガ、之ニ對シテ政府ハ如何ナル考慮ヲ拂フ積リデアルカト云フ質問デアリマシタ、之ニ對シテ政府當局ノ答辯ハ、「第一、蘭絲價ノ安定ヲ確保シ蠶絲業統制ヲ徹底セシムル爲政府ハ速力ナル機會ニ於テ一元的統制ヲ完成スペシ。
二、農林大臣ノ指定ヲ受ケタル製絲業者ガ輸出向生絲ヲ輸出シ又ハ販賣セントスルトキハ日本蠶絲統制株式會社ヲ通常主務大臣ノ許可ヲ受クベシ。
三、前項ノ製絲業者ガ輸出向生絲ヲ輸出シ又ハ販賣價格ト生產價格トノ差額ヲ日本方方法ヲ講ズル、三、蠶種賣買業者ニ付テハ、俄カニ失業セシムル如キコトナキヤウ

適當ノ措置ヲ講ズル等、地方的事情ニ應ジ考慮スル積リデアル、以上ノ如ク出來得ル限リ失業者ハ生ゼシメヌヤウ努力スルト云フ答辯ガアリマシタ
山邦太郎委員ヨリ修正案及び附帶決議ノ提出ガアリマシタ、修正案ハ第二十九條末項ニ
ニ
蘭絲業ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ其ノ職ヲ退キタル後五年間日本蠶絲者ノ役員ト爲リ又ハ其ノ給與ヲ受クル事務ニ從事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
附帶決議ヲ朗讀シマス
附帶決議

五、本法ノ施行ニ際シテハ乾蘭倉庫、蘭市場ヲ買收又ハ利用スルト共ニ蘭絲業者、蠶種賣買業者及其ノ團體ヲ活用シ以テ失業ノ防止ニ留意スベシ
六、養蠶ノ違作ニ對シ之レガ救濟策トシ出ガアリマシタ、修正案ハ第二十九條末項ニ
ニ
蘭絲價ノ安定ヲ確保シ蠶絲業統制ヲ附帶決議ヲ朗讀シマス
附帶決議

之ニ對シテ井野農林次官ヨリ、石黒農林大臣ハ只今他ノ委員會ニ於テ發言申デアルカラ、私ガ政府ヲ代表ヲシテ發言スル旨ヲ明カニ致サレテ、次ノ如ク述ベラレマシタ、修正案ニ對シマシテハ「第二十九條ノ修正ニ關シマシテハ、貴族院ニ於テモ同様修正セラレマスル場合ニハ、政府ニ於キマシテモ同意致シタイト、存ジマス」附帶決議ニ對スル答辯ハ、「附帶決議ニ關シマシテハ、御趣旨ノ存スル所モ能ク了解出來マスノデ、本法運用ニ際シマシテハ善處致ス積リデアリマス」斯ノ如クデアリマシタ、茲ニ政府ト委員會ノ意見ガ全ク一致ヲ見マシテ、修正案並ニ爾餘ノ原案及ビ附帶決議ハ滿場一致ヲ以テ可決致シタノデアリマス、以上御報告申上ゲマス(拍手)
○議長(小山松壽君) 本案ノ第二讀會ヲ閉クニ御異議アリマセス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 本案ノ第二讀會ヲ閉クニ御異議ナイト認メマ

ス、仍テ本案ノ第一讀會ヲ開クニ決シマシタ、

○服部崎市君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君） 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

贊成統制法案 第二讀會（確定議）

○議長（小山松壽君） 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り確定致シマシタ（拍手）

○服部崎市君 本日ハ日程第三ヲ延期セラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君） 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

○議長（小山松壽君） 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り確定致シマシタ（拍手）

○服部崎市君 本日ハ日程第三ヲ延期セラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君） 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

○議長（小山松壽君） 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

大正十二年法律第五十二號中改正法律案

大正十二年法律第五十二號中改正法律案

第一項中「昭和十六年十二月三十一日迄」ヲ「昭和二十一年十二月三十一日迄」ニ改ム

第一項中「昭和十六年十二月三十一日迄」ヲ「昭和二十一年十二月三十一日迄」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔手代木隆吉君登壇〕

○手代木隆吉君 大正十二年法律第五十二號中改正法律案ノ趣旨ヲ極ク簡單ニ説明ヲ申上ダマス

大正十二年法律第五十二號ハ數回改正ヲセラレタノデアリマスガ、昭和十二年ニ改正サレタ現行法ハ「明治二十六年司法省令第九號辯護士試験規則」ニ依ル試験ノ受験ヲ出願シタル者ニシテ昭和十六年十二月三十日迄ニ勅令ヲ以テ定ムル試験ニ合格シタル者ハ辯護士法第三條ノ規定ニ拘ラス辯護士試補タルコトヲ得」ト現在ナツテ居ルノデアリマス、之ヲ今回此ノ第一項中ノ「昭和十六年十二月三十一日迄」トアルノヲ「昭和二十一年十二月三十一日迄」ト改メマシテ、尙ホ附則ト致シマシテ「本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス」斯様ニ致シタイト云フ

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——提出者手代木隆吉君

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——提出者手代木隆吉君

難若シクハ不可能ナ者ガ大多數ナノデアリマス、然ルニ此ノ試験制度ハ本年十二月三十日デ切レル譯デアリマス、隨テ多數ノシマス

今マデ其ノ志ヲ變ヘズニ刻苦勉勵致シタ者ガ救ハレナイコトニナルノデアリマシテ、洵ニ本人達ニ取ツテモ氣ノ毒デアリマス、

若シ是等ノ者ノ將來ヲ阻止スルヤウナ結果ニナリマスレバ、思想上ニモ面白カラザル影響ガ生ズルコトデアツテ、國家ノ爲ニ決シテ利益デハナイト思ヒマスノデ、之ヲ更ニ五年間延長致シマシテ、昭和二十一年十二月三十日マデハ受験シ得ル所ノ機會ヲ與ヘタイト云フノデアリマス、左様ナ趣旨ニナリマシテ、是非御賛成ヲ御願ヒ致シタ

イノデアリマス

茲ニ尙ホ一言申シ添ヘタイコトハ、御承知ノ如ク今期議會ハ政府ニ於キマシテモ法案ヲ出來得ル限り縮減致シタノデアリマス、

又議員提出ノ法律案ハ是ガ提出サレタ中ノ唯一ノモノデアリマス、私モ此ノ議會ニ鑑ミ

ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

○議長（小山松壽君） 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、是ニテ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時十六分散會

○議長（小山松壽君） 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

成立ヲ見タイノデアリマス、御賛成ヲ御願ヒ致シマス（拍手）

○服部崎市君 本案ハ政府提出、民法中改正法律案外二件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君） 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、是ニテ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

○議長（小山松壽君） 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

